明治三十八年二月二十三日發行

（明治二十年十一月本會創立）

婦人衛生雜誌

第百八拾參號

第三種郵便物認可明治廿六年四月四日
每月一回二十日發行
内務省許可明治二十一年二月二十八日

私立大日本婦人衛生會

婦人衛生雜誌

第百八十三號目次

本會總會廣告

來三月四日第一土曜日午後一時半より神田區一ッ橋通女子職業學校內に於て本會總會を開き左の如く施行致し候間萬障御繰合せ御來會有之度候

一役員改撰
一事務及會計報告
一傳染性眼病　　ドクトル　日高昂君
一演題未定　　醫學士　寺田豐作君
一講話

●本會事務所移轉

今般都合に依り　牛込區上宮比町八番地ニ移轉

爲替振込（牛込築土八幡町郵便爲替取扱所）



[illegible]

名家演壇

家庭と黴菌

醫學博士　遠山椿吉君述
佃事務所員速記

此度此婦人衛生會の御集會に付て私に何かお話を致すやうにと云ふことでありました、で豫て此御會のことは聞及んで居りまするし、且は益々御盛大であると云ふことも聞きまして蔭ながら悦んで居りましたことでございます、當今は時局と申すので世の中が極めて騷々敷くございますに拘らず、斯う云ふやうに衛生の事を御研究になると云ふのは、誠に結構なことでございます吾々の專門から申しますると云ふと、世の中が忙はしいだけそれだけ衛生の必要を感じますけれども、兎角世間はさうございませぬて、忙がしい儘に等閑に附せらるゝと云ふ傾きがある、然るに本會の皆樣の御熱心は實に敬服の次第でございます、前置きが大分長くなりますけれども尚ほ申上げて置きたい、ツイ此頃も私の友人で家庭看護法の必要と云ふことを說いて廻ツた、詰り家に病人があツた時に慌てぬやうに心掛けをするのが家庭の看護法です、それを說いた所が、イヤ俺の家は皆健康で病人抔は決して無い、それに忌々しい看護法抔を講ずるのは緣喜でもないと云ふ話があツたのです、世間にはさう云ふ人が多いのです、然るに貴君方は特に衛生の必要を御感じになツて着々御研究になると云ふことは、蔭ながら此會を尊重致して居りました際に、私にも何かお話せよと云ふことでありますから悦んで出席致した次第であります。

私は御聞及びもございませうが、專門とする所の學問が極めて面倒な學問で、御聞きに入れてもチヨツと御用ゐにならぬ事ばかり平常研究して居る專門でありますから、お話申上げるのに誠に困却致したの

てす、が差向き此處へ書いてございますやうに（家庭と黴菌）と云ふことを申上げやうと思ひます、併し此黴菌と云ふのは如何なるものであるかと云ふことを豫めお話申さんと云ふと家庭に就ての黴菌のことをお話申しても御分り惡いてありませうから、先づ大體黴菌のことを少し許りお話を致して、それから家庭に就ての黴菌のことを申すふと存します。一體黴菌と云ふものを世間に間違へて考へて居る向きが多分在るのてす、元來學問と云ふことは申上げる迄もない物の解釋てあり又說明てあるのてす、說明が即ち學問で、學問が即ち解釋です、其解釋があッて始めて滿足なる働きが出來るのてあります、今度の日露戰爭にしても露國は日本國に侮辱を與へた敵てあるから、膺懲してやらなければならぬ、一兵卒に至るまで斯ら考へてやるから日本の方が强くて勝つけれども、露西亞の兵の如く何か何たら分らぬて無闇にやッて居るやうなことてあると矢張り負けて仕舞ふ、それと同じ事て、例へば衞生とか淸潔とか云ふことを言ひましても、唯だ淸潔と云ふこと許りては可けない、淸潔にすればどうして宜しいか、衞生が何ぜ宜いかと云ふ解釋が分ッた以上に始めて其仕事が本統に行屆くものと思ひます、てあるから黴菌と云ふやうなことも詰り其意味合ひが能く分ッて居りまするると、衞生を實行する上にも精神がそこへ籠ッて仕事が十分に出來ます譯けて、唯だ形の上てやるのと精神を籠めてやるのとは非常に結果が違ふやうになりますから、少し面倒ても黴菌と云ふことからお話致したいと思ふのてす、然るに茲に一つ六ヶしいのは黴菌と衞生と云ふことは實に大變な問題てありまして、巨細に申上げたならば數日に渉ッてもお話盡せぬと位てすから先づ大體黴菌のことをお話申上げ次に、家庭の方は先づ臺所から申上げ樣と思ひますが、或は臺所だけて以て今日の時間がお終ひになるかも知れませぬが、若し餘地がございましたならば、産婦と黴菌、或は玄關と黴菌、或は傳染病と黴菌、或は掃除と黴菌と云ふこと抔をお話し

たいと思ふのです。

世間では黴菌と云ふと傳染病と云ふものを聯想する、傳染病と言へば誠に忌はしい恐ろしいものである、然らば黴菌と云ふものは甚だ宜しくない惡いものである、それですから世間で厄介な人間のことを世の中の黴菌ダバチルスダ抔と云ふて人を蹴ッて申す位ですが、是は實は大變な誤りでさう云ふもので無いのです、元と黴菌と云ふものは極く細かな肉眼で見ることの出來ぬもので御承知の通り顯微鏡の力に倚ッて始めて吾々が見得るものでございます、其大きさは日本の寸法の一分を何千に割ッた其一つ位のものであります、此黴菌と云ふものは實は植物ですから梅の木、松の木或は水仙であるとか野菜物であるとか云ふ類と同じものなんです、で黴菌と云ふものを若し惡いものと批評しました時分には、植物は惡いものと云ふのと同じことであります、一體世の中の生き物と云ふのは、動物と植物とございますが、必ずしも動植物が惡いと云ふ譯ではない、尤も惡い物もありませう、植物の中にも隨分毒草もあります、動物の中にも猛獸毒蛇抔吾々人生に害になるのみで益にならぬものがあります、けれども動植物と云ふものは吾々の生活に極めて必要なものである、既に吾々が這入ッて居る此家でも木から出來て居る、若し松、樅、栂が無かッたならば吾々は家の中に這入ッて居られない、食物も多くは矢張り植物ではありませんかそれだから此二つは必要である、で黴菌と云ふものは丁度植物の世の中に存在して居るのと同じ理屈であります、然るに黴菌は惡いものである、私は黴菌を專門にして居る爲めに世の中から黴菌のことを惡し樣に言はれると辯護の位地に立ちたいのである(一同大笑)成程黴菌と云ふものは人に喰ッ附いて傳染病を惹起させるやうな不屆な黴菌もございますけれども、皆さうであるとは限らない、第一植物にしても有ッても宜いが無くても宜いと云ふ物がある、庭に生る雜草の如きは食べる譯にも行かなければ別段害にもならぬ、黴菌も其通り無害無効

のものがある、けれども亦有用なものがあります、植物には家を造たり食物的したりするものがあり、動物でも魚類であるとか家畜であるとか云ふものは、吾々の生命を保つに必要の物である、然るが如く黴菌にも必要なものがあるのである、吾々人生に取ッて無くてならぬ黴菌が澤山在る、それでありますから黴菌と云ふものは植物と同じやうに三通りに分つことが出來ます、即ち

黴菌		
	無害………	腐敗
	有効………	醱酵
	有害………	病原

斯う云ふ譯になります、此第一の無害のものと云ふのはどう云ふものかと云ふに、生き物であるから何か働きをする、其働いた現はれが物を腐敗せしむる、腐敗と云ふことも臺所で煮た物が腐ッたり御飯が腐ッたりするのは困る、けれども此腐敗と云ふものは實は此の中に必要の現はれてあります、腐敗があるが爲めに都合好く人が生きたり植物が繁殖したりする、だから此無害と申すことは色々六ケしい理屈もありますけれども玆では申ませんそれから有効と云ふのはどう云ふことが即ち黴菌が吾々に助けをする場合があるかと云ふと、私は爰に醱酵と言ふた、醱酵と言ふと六ケしいやうですが、酒を造ッたり醬油を造ッたりする時に沸くと言ひますことです、此醱酵と云ふことは人生直接に缺くべからざる必要なことである、此醱酵が無いと今日多くの事業に差支を生ずると云ふことになる、臺所で例を取ッて申して見ますると、一體吾々が每朝食べる所の味噌と云ふものに何か、それは味噌屋が造ッたのだらうと言はれるだらうが、味噌屋が決して味噌を造ッたのでは無い、あれは唯だ豆とか麥を煮て鹽を雜へだてけて若しも醱酵が無かッたならば味噌は出來ない、黴菌が無ければ醱酵と云ふことは無い、唯だ味噌を造る所の成分即ち豆や麥と鹽を取集めて蓋をして置いた所で、百年經ッても味噌にはならぬ、次に醬油なるものは如何であるか、あれも醬油屋が造ッたと言は

れませうが、決して醬油屋が造ることは出來ない、詰る、黴菌がアレを製造したのです、酢は誰が造ッたかと云ふと、是れも同樣で黴菌が造ッたものである、唯だ日本の製造主は何となしに拵へて居りますが、唯だ藏の中に入れて置て天然自然に黴菌に造ッて貰ふ、それから極く必要なのは酒です、此酒と云ふものは單に飲料許りでは無いのでありまして、文明的の多くの工業に與ッて力の有るものは亞爾加保見です、酒から採ッた亞爾加保見です、此酒なるものは誰が造るかと申しますると、決して人間の業で造れるものでは無い、詰り黴菌が造ッて呉れる、昔は心無しに黴菌の造るのを待ッて居たが、近頃は西洋の學問を輸入したから、酒造家は黴菌の有効のものを桶か何かに入れて造ることを發明して實行して居る、醬油でも味噌でも酢でも酒でも皆黴菌が造ッて居る、黴菌無しでは酒も何も出來ない、其外幾らもある、納豆ですネ、あの納豆は誰が造ッたか、矢張り黴菌が造ッたものである、豆を煮て藁に包んで置くと二日か三日で以て納豆が出來る、所でアレは唯だ豆を煮て器物に入れて置いたのでは百年經ッても納豆は出來ないどうしても、藁に入れる必要がある、藁に納豆を造る黴菌が喰附いて居るからです、それから糖味噌はどうか、糖に鹽を入れた許りでは何時迄も糖味噌にならない、悉くア、云ふ醱酵物なるものは黴菌の仕業です、それは日本流の臺所を算へ上げたのでありますが、西洋でも同樣でありまして矢張り醱酵物が澤山あるのです、是が第二の種類それから第三の種類のものは、即ち有害のものであッて、植物動物で申せば毒草である或は猛獸毒蛇である、吾々に害を爲すべきものを言ふのです、是は即ち傳染病を起す原となるのみあります此處では申上げませぬ。

そこで此黴菌は天然の儘に打捨ッて置て宜い場合もありますけれども、多くの場合には此黴菌を殺す必要がある、或は之を取除く必要がある、或は之を豫防する必要がある、即ち有用な黴菌は態々招かなけ

ればならぬけれども、有害の黴菌は之を除かなければならぬ、其黴菌を殺したり除いたりすることが今日申す消毒であります、或場合に之を殺菌と言ふてすが、黴菌を殺す許りが消毒では無い、消毒と云ふことは總て黴菌の働きを無くしさへすれば宜いので、殺さないでも宜い、兵隊で言ふて見れば何も露西亞の兵隊を悉く殺す必要は無い、捕縛して銃を奪ッて置けば當り前の人と同じことであるから何も殺す必要は無い、又殺さぬでも手足の動かぬやうに疵を負はせて仕舞へば最う戰鬪力が無いのだからそれで宜い、それと同じやうな理屈でありまして黴菌は必ず殺さぬでも宜いです、總てさう云ふ事を消毒と申すのであります。

そこで消毒と云ふものはどう云ふ事で出來るかと云ふと、實は三通りある、其第一は機械的と申します、機械と云ふと何か斯う機械道具のやうに思はれますけれども、學問の方からそんな言葉を遣ふて居る、之れは總て掃除をする、雜巾掛けをするとか箒で掃くとか云ふことは總て消毒です、此消毒と云ふことは黴菌を取除くと云ふことである、彼の油虫であるとか毛虫であるとか云ふものは火箸で挾んで取除くことが出來るけれども、黴菌は目に見えないものですからさう云ふ譯には行かない、そこで掃除をする、それが消毒になる、……………御掃除のことは家庭の掃除と黴菌と云ふ所の條目で申上げたいと思つて居りますが、…………兎に角掃除に依て黴菌を取除くと云ふことが消毒の一つである、又例へば御碗茶を拭くのも矢張りさうです、其次は稀薄、總て薄めると云ふことが矢張り消毒の一つであります、例へば「コップ」の中に黴菌が澤山喰附いて居ると假定めますると、之を水で洗ふ、固より目で見えない所の黴菌が此コップの中に日本の人間の數よりも多く這入つて居る譯でせう、それを水で洗ふと十あるものが五つになり其次には三つになる、即ち稀薄になる之が即ち黴菌を取除く方法である、是は中々有効な方法で、それは斯う云ふことにもなる、例へ

ば此部屋がですね、……………緣起でも無いお話を巾すやうですが……病人があつて病原菌で穢れたとしまするど、窓を充分に開けまして空氣を自由に通はせる、それを三日も四日もやりましてさうして黴菌を薄くする、即ち第一日は百のものか五十になる、次には二十、次には十、次には一つになり、遂には無くなるそれだから稀薄にすると云ふことも黴菌を拂ふ一つの方法です、又金盥に水を汲んで手を洗ふ時分に澤山の水で洗ふと、どうしても餘計稀薄になる筈で之も稀薄法の一つです、それから次に漉すと云ふことです、第一水を砂漉にして使ふ、此漉すと云ふことは大變に消毒に有効なものである、：……後との水の所でお話をしますが……充分に漉しますと黴菌が少しも無くなつて仕舞ふ、極めて不潔な數萬の黴菌を含んだものでも巧みに之を漉すと少しも黴菌を無くして仕舞ふ、ことができる、それ程有力のものですけれども、此漉すと云ふには矢張り多少心得も要りまするし上手下手もある、先づ消毒の第一が之れです。

第二は藥を用ゐて黴菌を殺すこと、石炭酸とか昇汞とか石灰とか、消毒藥と唱へて種々の藥がありますが、即ち黴菌がこれを嫌ひなんです、それに觸ると死んで仕舞ふ、此消毒藥を用ゐて消毒をする場合が澤山在る、けれども是は家庭に於ては必要か少い、勿論切傷であるとか傳染病等の場合に於ては必要がありますけれども、其他の場合には餘り必要が無い、藥と云ふ中で臺所に關係しては例の酒です、唯今の日本酒と云ふものは専門家に聞きますると、消毒藥の這入つて居ない酒と云ふものは日本には無いさうです、陛下が召上がると云ふ樣な特別に製造したものには這入つて居ないのが一二種あるけれども、全國中何處の酒でも消毒藥が這入て居る、それは則ち腐りを防ぐ爲めに入れるのです、そんな物を入れて宜いか惡いかと云ふことは別の話ですが、兎に角藥を用ゐて消毒すると云ふのが第二の仕方であります。

第三は藥でございませぬで理學的と申して或力を用ゐて消毒をする、一體微菌と云ふものは生きて居るのに色々な必要な物がある、即ち吾々が生きて居るに一刻も缺くべからざるものは空氣です、それから食物です、是と同じやうに微菌に取つて何が必要かといふと、濕氣が必要である、微菌の種類に依て少し違ふのもありますけれども、全體から申すと水氣の無い處には生きて居られないのです、次には適當の溫度、好い加減の暖さが無ければ微菌は生きて居られない、極く冷たい處とか極く暑い處には居堪まらずして死んで仕舞ふそれから、微菌の嫌ふ處、即ち反對に申すと光線を恐れるものである、光線は微菌に對して恐ろしいものである、それであるから微菌を殺さうと云ふには斯う云ふ性質に附入ッて此力を用ゐるのです、第一に水氣を微菌が好みますから微菌を殺さうと思ふには水氣を絕つ、言換へると乾かすと云ふことです、乾かすのが微菌に大變に毒になる、水氣を絕たれるのが一番苦しい、けれどもそれが一樣に行かぬて或場合には取除けがある、肺病の微菌或は實扶的利亞の微菌と云ふものは乾しても一寸は死なぬので是は取除けである、一體微菌の全體から言ふと乾かすことは彼等に取て大毒です、斯う云ふ性質のものである、それで乾かすと云ふことは一つの消毒の仕方であります、御承知の通り乾物屋の見世に行ッて見ると、色々な食物のカンテンとか昆布とか大豆、乾大根と云ふやうな物がある、アレは何が故に腐らぬか、微菌が繁殖しないからである、物を保存するには腐らぬやうにしなければならぬ、乾物屋は微菌學者では無いけれども乾燥消毒を十分やッて居る、のです次には程の好い所の溫度を微菌が生活に必要とする、餘り寒くても暑くても微菌には可かぬのですから、微菌を殺すには第一に冷やす、甚しく冷やしますると微菌は遂に死んで仕舞ふ、一般の上から申しますると此寒い時節に虎列剌とか赤痢とか云ふ病氣の流行するのが少いと云ふのは、冷めたい爲めに微菌が萎縮まッて仕舞ふ、太甚

しきは死んで仕舞ふ……ペストは別です……兎も角も多くの傳染病なるものが寒い時節に流行らぬと云ふのは其爲めてある、それから現に肉を賣る商人或は野菜を賣る商人が肉や野菜を冷やして置くと云ふのは、腐らぬ、やうにする爲めてある、腐らぬやうにするとは微菌の繁殖せぬやうにするのである、即ち冷めたくして置けば働けないのです、それから次は熱です、微菌は程好き温度で無ければ働きが出來ぬので、強い熱度に逢ふと微菌は死んで仕舞ふ、是は最も廣い殊に臺所の微菌に付きましては、眞ッ先きに最も必要として用ゐられて居るのが之であります、此温度を用ゐると微菌は悉く撲殺することが出來る、燒いたり煮たり蒸したりすることです、次は光を恐れる、第一が日光、其外X光線、それから近頃に至ッてラジユームの光線抔と云ふものがある、さう云ふものには微菌は堪へられない、それだから其裏を言へば暗くして置けば微菌が繁殖して働くと云ふことになる。

以上申上げた所は、一體微菌と云ふものは斯樣なものであッて、其微菌を殺さうと云ふ手段を採るには斯々の事をすれば宜しいと云ふ其全般の事を申上げたのです、大變に長くなりましたが、是から家庭のことを申上げます。

家庭に於て微菌に付て考ふべき事柄は澤山ございます、其第一が臺所即ち庖厨に於ける微菌のこと、次が洒掃に付ての微菌のこと、それから御婦人でありまするときに御産をする時の微菌と云ふこと、又一家族がありますれば、別けて子供の如きは怪我をする、其怪我に向ッての微菌のことを注意するのが必要である、それから一家族を構成して居りますれば如何なる場合に傳染病が家族に襲ふて來ないとも限りませぬ、即ち傳染病の微菌と云ふものを豫め心得て居ると、狼狽せずに濟むのみならず其處置宜しきを得て、心得のない者なら十日掛かる所を五日にして癒るとか、命が無い所を助かるとか、斯樣な幸福を得ると云ふのは詰り衛生上研究の結果であると思ひま

す、それでありますから家庭に於て衛生上研究すべき事が澤山ございますけれども、私は先づ差向き庖厨、臺所の事に付て申上げたいと思ひます。

先づ第一注目すべき事柄は臺所の部屋です、黴菌と申して吾々の恐れるのは詰り傳染病になる所の黴菌を恐れるのです、是は人體に直接の害を爲すものである、此黴菌は何處に居るかと云ふと、矢張り植物と同じやうに外の黴菌と雜居して居る、毒草計り林を爲して居る處は無い、黴菌も同じやうな譯で外のものと交ッて居る、それで其黴菌が臺所に居ると傳染病の黴菌も其中に雜ッて居るから傳染病を防がうと云ふには、善かれ惡かれ總てを取除くといふ手段を採らなければならぬ、或は殘ッて居るものがあればソレを殺す手段を採らなければならぬ、そこで部屋の黴菌はどうして除くかと云ふと、是は掃除をすることは固より、最も必要のものは光線です、始終光線の通ッて居る部屋は若しも塵埃がありましても其中の黴菌と云ふものは活きて居らぬ、此講堂の如く、十分の窓があッて此位光線の這入る部屋であッて、好く乾いて居れば黴菌と云ふものは決して活きて居らぬ、若しも吾々が外から靴に附けて黴菌を持ッて來ても長くは活きて居らぬそれが、闇い所であると黴菌は何時迄も活きて居る、子が子を産んで無限に繁殖する、一體動物でも植物でも同じですが、下等な物ほど同族同種を繁殖することが激しい、人間は最高等の動物でありますから一定の數しか産みませぬけれども、黴菌に至ッては下等の又最下等であるから、子を産むことが實に夥しい、一時間に何百萬と産んで(大笑)數へ切れぬ程繁殖する、だから之を繁殖させまいと思へば光線を通すと云ふことが必要である、で殊に吾々の生命を繼ぐに大切なる食物を取扱ふ臺所の部屋の如きは、最も能く光線の這入るやうにするのが必要である、或は光線抔がそんな力があるかと思召す人があるかも知らんが、それは實に意外なものです、現に虎列剌の黴菌の如きの者黴菌の中でも極めてもろいのです、弱い代りに繁殖

力が強い、夏の八九月の頃に貴君方が單物を着て居られる、尾籠なことてありますけれども吐いた物か何かに裾が觸ッてコレラ菌が喰附いた、斯う云ふ時分に其單物を物干に四三時間も掛けて置くと十分に黴菌を殺すことが出來る、それは燒いたり蒸したりすれば尙ほ結構でありますけれども、それ程のことをせぬても乾かせばそれて死ぬ、それ位に弱い黴菌なんてす、一體に黴菌と云ふものは光線に對しては大變に脆いものてあります、それてあるから傳染病に對して光線と云ふものは實に有難いものである、實に價ひの無い賜物なんてす、其價ひの無い賜物を利用しなければならぬ、石炭酸抔を買ッて用ゐるよりも場合に依て光線を利用する方が大變に都合が好い、部屋に付ては先づ光線の配置だけてす、御承知の方もありませうが、有名な大隈伯爵邸の臺所が大變に善く出來て居ると云ふので、私も先日一遍拜見を致しましたが、アレでも完全して隅々迄は行屆きになッたとは申上げ兼ねる、けれども兎も角も現今の所ては實に立派なものてあります、隅から隅迄塵埃が見える、あれだと黴菌の隱れる餘地が無くなる。

それから次に戶棚です、今日迄の戶棚は大概日本流として板戶で出來て居る板戶と云ふものは光線を遮ッて眞ッ闇にするのてツマリ暗室なのです、それは品物を仕舞ッて置くと云ふ上から申せば板戶でも差支ないかも知れぬ、けれども淸潔を保つ即ち黴菌を殺すと云ふ點に至りますると板戶では不適當てある、然らばどうするかならば、謂はゞ光線の通る仕掛けをして戴きたいのです、即ち硝子であッたならば第一等結構である、硝子だと光線が透りますから黴菌を殺して仕舞ッて宜いが、餘儀なくは網戶が障子てす、硝子てあると重くもなるしお三どんが壞はすとか云ふやうなこともありますから、網戶又は障子でも宜い、戶棚の戶と云ふものは傳染病の媒介をする蠅其他小さい虫の這入るのが恐ろしいのでソレを防ぐ爲めに必要なものである、吾々の希望から申

しますると硝子を張ッて蔵けば結構のことなんです、此處で申すのは臺所全體の衛生のことを申すのでは無く、直接に黴菌のこと許り申して其他の事は總て申上げぬのですから、其御積りで御聽きを願ひたい。

それから茲處で一言清潔不潔と云ふことに付て申上げたい、一躰清潔不潔と云ふことは、唯だ見た所が穢くろしいと云ふのを不潔と云ひ、それから唯だ見て薩張りして居るのを清潔と云ふ、斯う云ふことが今日迄の意味合ひである、けれども自分の田に水のやうですが今日我々の學問の上から言ふと、さう云ふ意味に之を用ゐては可けまいと思ひます、清潔と云ふことは黴菌の少い有樣を云ひ、不潔と云ふことは總て黴菌が餘計喰附いて居るものを云ふ、斯う云ふ意味に用ゐなければならぬ、黴菌の事の今日の如くに分らなかッた時分でも場合によつてさう云ふ意味に取ッて居る、例へば絹の着物でも垢が喰附いて居れば、之を清潔とは言はぬて不潔と言ッたのは、詰り不潔と云ふことは黴菌が澤山集ッて居ると云ふことを意味して居る、何處迄も此意味で行きたいでも之をさうでなく意味して美麗と云ふのと間違へるのは困る、衛生の上に於ては美と云ふことは研究外でありまして、何處迄も清潔と云ふことは黴菌の少い、或は黴菌の無いことを意味せねばならぬ、支那人朝鮮人等は大變に之を間違へて居る、總て清潔と云ふことは唯だ目前に奇麗でさへあれば清潔、斯う云ふ意味に取ッて居る、是は野蠻の徴候である、日本に於ても耻かしながらさう云ふ向きがまだ大分ある、例之は疊であれ其表面さへ奇麗であれば宜い、下の方はどうでも構はぬ、それに座ッて滿足して居られる如何にも、其意を得ぬ次第です床から何から總て黴菌少なに出來て居るのが本統の清潔と云ふものであると思ひます　(未完)

寄書

●小學教員と醫學

醫學士　竹中成憲

全國に於ける醫師の數が人口に比して少いとは識者の認むる所である又醫育問題に就て諸士(北里二階堂兩氏及其他)の熱心に物せるものがある予の見る所に據れば醫師の數が少いには相違なきも醫師の所在(住所)が一定の場所に限局して居るのが惡いのである醫師が村落に住するを嫌て町に住ひ町に住むを嫌て市に移り此の如くにして都會となれば醫者があり過て困る實に都會に於ける醫師中には病客なきに苦み專門以外の事に從事するものも多い之を全國に甘く配布したならば決して民間に不自由を掛ける事はあるまい青森縣の如きは一縣下に醫學士は只の一人である之に反して新潟縣の如きは縣も大なりといへども新潟市のみにても四五名も居る此の如き有樣であるがゆへに村醫を雇ふ所もあるが之に雇はるゝものは多くは老朽の先生であるが爲めに技術と費用並行せぬ事となる此醫師の配布の不平均なる事に就ては宮入氏の言へる事もあるやうに記憶する

實に村落に入て見ると病人は氣の毒なもので今、腹痛が起たとしても一里も二里も醫者の所へ使を出す醫者が他方面へ出て留守だとすると其病人は半日も待て遂に藥を得る事が出來ず、醫師が歸宅してから暑氣又は寒氣を冒して疲勞の中を行て見ると病人は既に治して居るといふ始末、然し病家は一里少くも五十錢以上の往診料を拂はねばならぬ醫者も之を貰た所で費したる時間を計算して見ると餘り儲りもしない。

デ予の考にては全國到る所、小學校のない所はない、故に小學校の教員諸君を一、二年も留學させて限地開業醫位までの程度に醫學を修めしめ置くなら

ば一擧兩得の法であらうと思ふ。小學敎員諸君の令聞に產婆學を修めしむべしとは予の昨年發案したる所なるか本年は更に此案を提出するのである（完）



衛生雜話

流行寒冒の話

醫學士　石原喜久太郎

毎年寒さの時節には、流行寒冒がはやりまして、老幼男女を問はず、之に罹りて難儀をする者數ふるに遑あらぬ程であります、此一月二月には、東京でも、大層之がありまして、彼處でも此處でも煩ふてゐると云ふ有樣で、誠に厄介な事であります、

近年になりまして、流行寒冒とし云へば、何人も、夫がどんな病氣であるかと云ふことを知らぬはありますまいが、一名は「インフルエンザ」とも申しまして、是は。急性傳染病の一ッであります、即ち、病人からして、他の人々傳染致しまする處の急性の病氣で御座います、今回、烏渡是に就き述べて見やうと思ふのです。

●「インフルーエンザ」の病原

此病氣は、傳染病でありますから、必ず、その病原物がなければなりません、病人から他の人に移ッて行ッて、同じ病氣を惹き起さしめるのには、此病原物が必要であります、そこで「インフルーエンザ」の病原と致しましては、やはり他の傳染病、例へば膓「チフス」だの、虎列剌だののやうに一種の黴菌があります、即ち「インフルーエンザ」菌と稱するもので御座います、此菌が原となッて、傳染をし、流行を致さしめるのであります、此「インフルーエンザ」菌が發見になりましたのは、西洋では千八百九十一年乃至同二年のことでありまして、我明治二十四五年の頃であります、獨逸の醫學者が、患者の痰の中

及血の中から見付け出したのであります。

●流行寒冒の病狀の注意

素人の方々に、色々の病氣の狀態をお知らせ申して、斯樣な症候があれば、何と云ふ病氣である、と、云ッたやうな、所謂、診斷法を教へると云ふことは、餘りよろしく無いことで、諸大家の意見にも、さう述べてありますが、私は玆に流行寒冒の病狀に就きて、大に注意すべき事を申上げ度いのです、強ち診斷の事を云ふのではありません

流行寒冒の症狀は、寒けがあッたり、熱があり、頭痛や、手足及背の痛があり、大府、大病に罹ッたやうな氣持がしたり、鼻汁が出たり、咳嗽や、痰が出たり、胃腸が惡くなッたりと云ふ風に、色々の病狀がある、其内には、重いのもあり、輕いのもあるが、流行寒冒の診斷と云ふものは、醫者の方から見て、素人の考ふる程には容易で無い、彼の腸「チフス」の初めなどと、仲々、區別し難い場合もあるのです、此處が、私の注意し度いと思ふ點であります、腸「チフス」にも、無論輕重の別はありますけれども、ともかくこんな病氣には一府罹り度くない、危險の度が一府大である、そして、腸「チフス」の初と流行寒冒との區別が六ケ敷場合がある程ですから、流行寒冒位である、スグに癒るであらう、手療治で（私は恐れて居るのです、實に此手療治と云ふ事が吾が教育ある家庭に於て隨分多く行はれてゐるのを見るのです、「アンチピリン」や、「アンチフェブリン」の入ッて居る賣藥で、流行寒冒の手療治をやッてゐる家があるのです）もッて、癒るであらう、二三日もすれば癒るであらう、と、云ふやうに考へてはいけないのであります、流行寒冒の流行する時季に風を引いたやうな心地がある時は、充分に注意をして攝生を致し、熱でもあれば、スグニ醫者に診て貰ふのが最も必要です、其の指圖によりて發生をするのが肝腎です。

それから、又、是迄、持病でも持ッてゐる人ならば、流行寒冒に罹ッた爲めに、其持病が、大府惡く進ん

で來る事があり、又、それでなくとも、流行寒冒の後で、更に他の新らしい病氣を起す場合も鮮くないのです、重症の耳の病氣を起す事もあり肺炎を起すこともあり、ます

斯樣な次第ですから、流行寒冒は名が寒冒であるから、何でもないと考へて、輕んずるような事なく、決して輕い病氣で無いと思ッて充分に醫者の助言を待ッと云ふことに致し度いのであります、我田水のようですが、決してそう云ふ意味ではありませぬ、流行寒冒の豫防には、是ぞと云ふ特別の事は有りませんが、前にも記るしてある通り、患者の痰の内には「インフルーエンザ」菌が居るのですから、痰壷や、痰を拭き取ッた「ハンケチ」鼻紙などは消毒すべきものであります、又、平素から冷拭法を行ひ、皮膚を丈夫にして、寒冒にかゝらぬようにして置くのも必要であります。

◎室内の温度を測ることに就きて

日常衛生の爲めに一寸述べ度いのです、東京では、毎日の空氣の温度は中央氣象臺で測定になりまして、夫がちやんと公示せらるゝやうになッて居ります、毎日の空氣の温度が吾々の衛生に大關係あることは申す迄もありませぬが、それすら、人は餘り注意致しませぬのです、お座敷の床に、立派な生け花をするのと、柱に寒暖計を掛けてあるのと衛生家の眼より、見て何れが興味の深い事でしよう?、毎日の氣温は、中央氣象臺の報告てわかりまするけれども、室内の空氣の温度は、其の家の建築の方法や、室の方向や、暖室方法や、其ほか種々の點によりて違ッてくるのです、それで、自分の住んでゐる家に就て、一定の標準より、室内の氣温を測ッて、夫を記るして置く時は、衛生上大に參考にならうと考ひます、例令ば、今日は寒いようだ熱いようだと、單に皮膚の感じて知るのではなく、寒暖計の示す度によりて之を測知し、餘り寒いならば、夫に對して室の温まるように裝置をする等の適當なる措置を講ずるのは衛生上必要であります、室の温度をば、毎

日測るには、最もよきは、一日に三回宛寒暖計を検するので、朝六時、午後二時、夜分八時です、しかし、丁度、三回宛、少しも怠りなく測ることが出來なければ、其代りにシックス氏の最高最低寒暖計と云ふのを掛けて置いて、毎日一度、定ッた時刻に之を検して最高度と最低度を測るのです、斯様にして測ッたならば一々夫を帳面に付けて置く、また、同時に、其室に火鉢などを置いたならば、其事をば備考としてしるして置く、また、吾々が時節のかはる毎に着用してゐる衣服の種類をも記るして置く、そして、室は、可成二十四時間中吾々が長く居る室がよろしいので、居間とか、寝間とかに就きて測るのが至當です、一年間も測れば、其家の其家の温度が知れて、來年の參考になり、また、其室の構造や裝置を改良することとの參考になり衛生上の利益少からぬ事と信じます、吾は夫を實行してゐるのであります。

◯兒童の衛生上に關する相談

題は、鳥渡奇に見へるのですが、大層よろしい事と感じましたのでお話致します、多年學校衛生を研究せられし三島博士が、近頃市內で小兒及學校生徒の爲めに診療並に衛生上に關する相談に應ぜらると云ふ點で思ひ出したのであります、醫者は、家庭に對しまして、唯々病氣の時の診療のみでなく、其ほか衛生上に關して色々の注意を與ふべきものであると信じますが、しかし之は實地六ヶ敷事です、斯様な事柄が今日の日本に充分發達し實行せられて居りましようか、どうでしようか、今、自分の子供が就學年齢に達した、乍併、是迄病身であッて兎角弱くて困ッた、現在の身體の發育程度に鑑み、精神の發達程度を顧みて、其兒を今年小學校に入れてもよからうか、何したらば、其兒の爲めによからうか、などの疑問を充分の根據を以て判定する事は容易でありましようか、斯様な事は實に家庭に取りての大問題であらうと信じます、私は、三島博士が、如何云ふ風に致されますか、また、承りせまぬけれども、斯様な

事迄も注意を與へらるゝのであらうならば、實に吾が家庭の衛生の實際に取りて喜ふべき事と信じます、尙ほ此際世人が此種の問題を實地に考究する事に傾意せんことを切望するのであります。



質疑欄

●●●●質問注意　質問中診察せざれば應答し難きものは一切解答せず又答解に遲速あるは登載順に都合ある爲めと御承知を乞ふ●質問は端書にても封書にてもよろしけれど單に質問のみをわかりよく認むる事●質問に姓名を出すことを好まざる方は匿名にても差支なきも事務所へは姓名御通知の事●本號の雜誌に登載する分は凡前月十五日迄に申込まれしものとす●總て急ぎの分は回答せず

質問者　千葉　一　會員

問　私事昨年子宮病に罹り候後は乳にしみ誠に困り居り候身體は成る可く冷えぬ樣になし居り候へ共未だ全く癒らざる事かと存し居候如何なる事や伺ひ申上候

答　之れは子宮病の關係で乳か過敏になつて居るのであるから身體を冷さぬ樣になし乳は眞綿を以て卷き置きて能く溫める可し乳は子宮と交換性に來るところの場所であるから能く注意せらるべし

質問者　東京　一　會員

問　兩三年前より寒さに相向ひ陰囊濕疹發生し冬期中殆んど之れが爲め苦み居り候へば何卒治療法御示し下され度當病に何か禁すべき食物之れ有り候や其の他の有害なる事何上候

答　之れは慢性陰囊濕疹でコレは餘り湯に入り石鹼でごし／＼洗ぬ樣になさい見なければ充分分りませぬが先安全の法としては次の處法を能く陰囊を引延ばして御塗りなさい

爹兒
硫黃華 ｝各一〇、〇
亞鉛華
豚脂　三〇、〇

之れは土肥博士の爹流脊である之れを摩擦して亞鉛華澱粉等のものを混せ等分のものを降りかけ能く綿

にて包み、褓子をしめるべし醫者が常に見て居るものなれば此藥で時に糜爛や潰れたりるとを注意するとが出來るが素人任せならば右の藥の外に隔日に（或晝と夜）左の藥を交換して塗るべし

安息香酸　一、〇
亞鉛華　五、〇
豚の脂　三〇、〇　と云ふ　ウヰルソン氏軟膏

尚此の藥で能く癒りても尚ほ付けて處置するとが必要ですぶりかやすとがあるからです〇〇差支なし

質問者　小石川　一　會員

問　本年十歳に相成り候娘寢小便のくせ御座候て誠に困り居り候是れは不治の病に候や又何か良き方法か良き醫者に願ひ候へばなをり候ものや伺上候

答　これは不治の病ではありませぬ歳をとるに從つて大概癒るものでありますこれは習慣からもきますが元來一種の病氣ありますから夜寢る時分には水分を飲まさないとと夜間二回位は呼び起して厠にやらなければなりませぬ而して足及び腰は高くして寢るのが必要でありますス腰の邊の冷水摩擦は血液の循環を能くします冷水摩擦とても温き寢床にて行ふのがよし一體此病氣は腰の部に分布して居る神經の病氣であるが療法は電氣療法やアンチピリンの服用は其功かありますそうかと申て此病氣はおいそれと癒らぬ者ではある前に申した通り歳頃にさへなれば癒る者でありますから決して御心配はありませぬお醫者は誰とも申し兼ねますが内科又は皮膚病科の御醫者に見たてゝ事務所へ御出でになれば紹介してあげてもよろし

質問者　長野　一　會員

問　小兒が鼻や痰をすゝりて飲み込むのは如何にもきたなくもあり又害のあるものに候や伺上候

答　鼻や痰をすゝり込むのは仰せの通りきたなく思はれますから成る可く吐き出す樣に習慣を御付けなさい併し普通無害の鼻汁や痰なれば別に害はありませぬ胃の中ではその位いのもので害を受け

るものではない其れは胃液と云ふものか非常にはげしき働きがあるからで消化してしまゐます

質問者　牛込　一　會　員

問　常に通利が悪く色々の法を行ひましても功能がありませぬ何か良き通利の良法之れあり候や伺上候

答　先つ第一に運動を能くせなければなりませぬ室内の雜用はあまり功能ありませぬから毎日出來得る限り戸外の運動を盛にすることが必要で之れと同時に下劑を服用せらる可し其れは硫酸マグネシヤを一日に一〇ガラム、ハッカ水が一〇ガラム、水が百グラムを調合して一日三回に毎日〳〵續けてお飲みなさい併して又腹部即ち(下腹部)を一日に一二回二十分間位徐に按摩するが宜し

質問者　札幌　一　會　員

問　毒虫に刺れしとき若しアムモニヤ其の他何にも藥なければ如何手當致し置きて宜しきや伺上候

答　毒虫にも色々ありますが途中などで用意の藥がなければ止むを得ませんから其の刺された部分を口にて強く度々吸ひ出して清潔な水にて洗ひ又しぼり出し刺れし毒の廣がらぬ樣にするのが必用であります若し口のとゞかぬところならば嚴しく其の部分を縛り手にて強く押し出し其の跡に紙を張り其の傷口に毒の入らぬ樣にすべしこれは刺れたる時直ちに行ふのを良しとします蛇などに嚙まれたときは毒のまわらぬように嚙れし部分の上部と下部とを細きひもの類にてきびしく縛りて醫者の手當を受けらるべし申すまでもなき事なから家庭には石炭酸アムモニア等は蓄へて置かるべし毒虫の類に刺れたときの塗藥としては二十倍の石炭酸五、〇グリスリン五〇、〇水五〇、〇此合劑を一寸塗るべし又六ケ敷き藥ではクノル氏の(モスキチン)を塗るべし之れも永く蓄へ置れます

質問者　東京　一　會　員

問　私事二三ケ月前より常に水鼻出て殊に急に寒

き處へ參り候へは一入ひどく誠に困却いたし候手輕の良法御教授伺ひ上候

答　之れは鼻に故障があるので所謂鼻加多兒でありますから甚しけれは専門家に見てお貰ひなさい然らざれは鹽水を鼻より吸てお洗ひなさい

質問者　下谷　一　會　員

問　私夏の中は顔そばかす無くなり候へ共寒さに向ひ候へば著しくそばかす斗りとなりみにくくて困りますきれいに取れる藥をお教へ下さい

答　そばかすを取らうと思へば先づ其の根本から癒して行かねはなりませぬそばかすの多い人は子宮の悪い人に多い定めて白帶下なとが澤山おありでしよう其の方の療法をしてからでないと顔の表面に只た強き藥斗り塗りても無益です一寸取る藥はいくらもありますが本癒しをするとをお進めします私の申す様な白帶下などはありませぬか若しあるとすれば婦人家専門の醫者に見てお貰ひなさい

質問者　横須賀　一　會　員

問　九歳の男子十五度の近視眼の由今後度の進まぬよう如何なる養生法を取りて宜しきや伺上候

答　近視眼には讀書等を止めて眼をあまり使はぬようになさるべし殊に夜分書物を見る如きは最も然りとす

但し近視眼は度の進む丈けは進むものでなか〱之れを防ぐことは六ヶ敷併遠洋航海等をすれば近視眼は大に能くなると云ふとである何に致せ普通以上に讀書好きとの事故全く之れ等が一の度を早めた原因となつたでありましよう

●御斷　本月は姓名表挿入の爲め餘白なく栗本博の談片も次號に讓りぬ

中外彙報

▲婦人と齒、婦人は比較的男子よりも齒を破壞し若しくは齒を病むもの多く殊に姙娠の後は齒牙に送る營養分がへりますから齒痛を患るものが多いので子

兒に乳を呑ませる時季も又同じ又外國に比するに日本の小兒の齒を患るもの多し主として其の母親の不注意に基くもので要するに齒の掃除の行屆かさるに因るものにて彼のミッツパの如き成長の後有害の原因となるものもあまり注意を引くとなきは誠に歎息の至りなり

▲露國俘虜の種痘施行、近頃露國の俘虜中天然痘の發生を見松山、大坂收容所に各三名の擬似性患者を發生したるに就て俘虜全般に對して種痘を實施する事と爲りて陸軍省醫務局長より夫々通牒する所ありたり

▲痩せる法、是まで一種の人々の間に水を飲むは人體を肥滿せしむるものなりとの説行はれしが此頃佛國の學者アンリー、ド、バルヴホユがヂツルナル、デ、デバ雜誌にて公にせる試驗に據れば肥滿せる人にして淸水を飲用すれば却て痩せるものなりと氏は數種のギニア研家に午前六時午後六時の二度に一回二十五グラムを注射し且つ食物の水分をも分析査定し合計一日百頭に付百八十グラムの水を取らしめたり然るに此く水を取らしめつゝある間に於て豕は各一日四グラムの重量を減ぜり然るにこの試驗は繼續三日にして之を廢しそれより固形食物のみを與え其量却て淸水試驗を行ひつゝありし間よりも少なかりしに拘らず毎日家の重量に増加せるものあるに至りしと

▲肺病藥キニトール　醫科大學藥學專攻藥學得業士金澤應氏は複方キニトールを製劑して己れの肺病を治し尚僅々年月にして既に一千人に近き全快輕快の報告を得たりと此頃肺病患者の福音と云へる册子を編纂し郵劵三錢封入すれば喜んで寄送すといふ住所は下谷上根岸町なりと此藥劑に就ては他日大家の説を敲きて推攻する處あるべし

▲女醫に就て　醫學的女醫の攻究すべき問題は種々あつて其の必要を感ずることは多大であるが殊に男醫が婦人の身體を檢査するに中り一種の障害あるが故に充分の症狀を透見し難きとなり故に普通醫は勿

論檢疫顯微醫として婦人を診察する場合又は小兒女工宿泊所の宿直女學校等に女醫を使用せば風紀上よりしても所謂女科の研究上よりしても大いなる利益を得るならむ猶ほ清韓地方にては婦人患者を男醫に診察せしむるを嫌ふ弊あれば此方面に女醫を應用する時は必ず好結果を奏す可し云々

▲各國出産死亡の統計　國民の繁殖は國家隆昌の基ひにして又衛生進歩の程度如何と知ると得べくいと興味あることとあれば某統計學者最近調査せられたる表を見るに左の如し

出生兒(死産を除く)死亡兒(死産を除く)比例合毎千人に付

			千人ニ付出生數	同死亡數	差引出産數
露歐(波蘭にも)	自一八九〇年至一八九七年	七ケ年平均	四八、六	三四、八	一三、八
伊	自一八九一年至一九〇〇年	十ケ年平均	四〇、八	三〇、三	一〇、五
墺	仝上	仝	三七、一	仝 二六、八	一〇、三
獨	仝上	仝	三六、一	仝 二三、四	一三、七
佛	仝上	仝	三五、一	仝 二四、四	一〇、七
日(臺灣を除く)	仝上	仝	二九、四	仝 二〇、九	八、五
英	仝上	仝	二九、一	仝 一八、三	一〇、八
白	仝上	仝	二九、一	仝 一九、三	九、八
[illegible]	自一八九〇年至一八九八年	九ケ年平均	二三、三	二二、七	〇、六

▲痘瘡豫防に關する告諭　尾崎東京市長は去十一日痘瘡流行の兆あるを以て左の告諭を發したり

客年來韓滿地方に痘瘡流行し其病氣は延て我邦に侵入し遂に穆朧より今日に至る迄大阪、長崎、廣島、愛媛、福岡、熊本、山口、各府縣に傳播し尚倍々蔓延せんとするの兆候あり狀况既に如斯なるを以て何時本市に侵入するやも難計に依り此際未痘兒は勿論、其他に於ても一般に種痘を爲し豫防上遺憾なき樣特に注意せらるべし

▲鼠買揚二十万　東京市にては鼠の買上け數約二十万頭に達したるに付今月末第二十三回捕鼠の抽籤を行ふ筈なりと

▲種痘執行　近縣に於ける天然痘の流行次第に多きを加ふるに付市は此際例年執行すべき春期種痘期を

繰り揚げ各區の都合に依り本日より普く種痘の勵行をなさしむることに決定し昨日警視廳と協議の上夫々各區長に通達したりとぞ

▲英佛兩篤志看護婦人　英國篤志看護婦リチヤードソン夫人は去月二十八日より廣島豫備病院に勤務せり又た佛國篤志看護婦レーナル夫人は去七日より東京豫備病院澁谷分院に勤務することゝなりたるが夫人は看護上の經驗に乏しきを以て一週二回同豫備病院に於て日本赤十字社救護員の看護狀況を見習ひ尚又毎水曜日には神奈川支部に於て繃帶製造に從事しつゝあり同夫人は佛國貴族の出にして英語には餘り熟達せざるも獨逸語は頗る熟達せる由

▲昨年中の傳染病　内務省衛生局最近の調査に依れば昨年初發以來の全國赤痢病患者は三萬二千百八十三名にして同死亡者は四千九百八十一名、腸窒扶斯患者數は一萬九千三百三十名にして死亡者四千六百〇四名、痘瘡患者は一千一百九十五名にして死亡者二百三十五名なりと云ふ

尚此都下に窒扶垤里亞流行の兆あり注意すべきなり

大日本婦人衛生會記事

二月例會

二月四日第一土曜日午後正一時半より神田區一ッ橋通り女子職業學校内に於て開く醫學士木村德衛君の糖尿病に關する演說醫學博士岡田和一郎君の鼻の衛生に關し演說せられ右終り散會せしが出席役員には濱尾副會長、羽田緒子、山本多穗子、岡田德子、田村きよ子、鳩山春子、高木榮子、濱田拾子の、諸氏なりき

●傷病者帽子の寄附●●●●●●

帽子貳拾五個　神田一ッ橋通　共立女子職業學校職員一同
金壹圓　赤坂區一ッ木町八十一　羽田　三緒子
金壹圓　神田駿河臺袋町十三　濱田　拾子
帽子六拾個　本鄕區看護婦一同總代　大久保てる子
順天堂外有志者　後藤　よね子

●帽子澁谷豫備病院へ帽子寄附

去十一日會員諸氏より寄送の帽子は貳百個に達せしかば去る十日發送寄贈の筈なかりしが本會々員なる湯島順天堂内女醫大久保晃子後藤米子兩氏は本會の企圖を賛し同院看護婦一同の補助により左の鄭重なる書狀を添へ綿ネル帽子六十個寄贈せられいと篤志の事にあれば一日を延期して去る十一日不取敢二百六十個赤十字社澁谷分院に寄送せり

口上

一綿ネル帽子　六拾個

目錄の品誠に粗末にては候へとも看護婦諸子登つなりとも縫て差上度と望みに任せ仕立候處至て不出來に御座候得共寸志のみ宜敷御取斗被下度此段御願申上候也

順天堂内
後藤米子
大久保晃子

米澤支會報告

●●●●新年會景況

大日本婦人衛生會米澤支會にても豫報し如く去る二十二日の日曜日を卜くし午後一時新年會を舞鶴樓上に開きたる會場は松岬館なりしも當日は突然應召兵士の身體檢査を同館に於而執行することゝなりたるより俄に舞鶴樓上を借り受け開會することゝなりたり來賓及會員の着席終るや同會幹事馬場滿氏は演壇に登り開會の辭を述べられ次に同會講師楢川良策氏は看病者の心得に就而有益なる講話あり終て茶菓の饗應あり次に餘興に移り第一着に古澤夫人之生田流「天下泰平」の彈琴あり滿座を感動せしめ終て「雷落」ちの遊戲あり落雷者は廣座に出てゝ目陰し揮毫の與あり次にマッキー夫人歡迎の光景を演出し看護婦の負傷兵繃帶執行を一覽し萬歳聲裡に歸艦せるの趣きを大に喝采を博したり終て二三の遊戲なり再ひ古澤夫人の「生田流松竹梅」の曲三味線あり次に「親心」の茶番あり謠曲の臺詞にて一兵卒の父親か子を思ふ親心我子の仙兵士に種々の物品を贈らんとて宇品まで來り休息し際泥棒に盜まれ追行きたる所に其兵士か負傷して入院し居たる會ま海岸に散歩を試み此出

來事に遭遇し親子不思議の對面を爲し歡極まりたるの光景を目擊したる泥棒も油然として善心に立歸り三人共に日本の戰勝を祝し一曲を舞ひたるの趣向なるか田舍爺扮裝より負傷兵士の國家の爲めに難戰苦鬪を經たる赤誠舉動に現はれ非常の喝采なりし終て再び「雷落し」の遊戲ありて落雷者は陰し藝鳴り物布團取り等の遊戲を演出し最後に來會者一同七十餘人の過卷き遊戲あり終て大日本帝國及婦人衞生會の萬歲を三唱し午後五時解散會したり秩序あり趣味あり一同歡を盡さゞるなく實に稀有の盛會なりし

此度寄附せらし人名左の如し

一金壹圓　中條　梅節君
一金壹圓　土佐林英一君
一金壹圓　高野一隆造君
一金壹圓　仁科　盛忠君
一金五拾錢　松山あき子樣
一金壹圓也　加藤　副會長
一金壹圓　宮崎　厚郎君
一金壹圓　楠川　貝策君
一金壹圓　高野　皖雄君
一金壹圓　猪股　松三郎
一金五拾錢　楠川たき子樣



○本會入會者

○廣島塙とせ子紹介
●廣島宇品碇泊陸軍病院船土洋丸乘込第七臨時救護班　通常會員　三村山喜惠子

○熊本吉富霜子紹介
●熊本市內坪井町八十番地　通常會員　平田　さい子

○愛媛漆原兵吉君紹介
●愛媛縣松山病院內　通常會員　岡本　友代子

○大分安田熈子紹介
●大分縣大分町字下市　通常會員　村上　重見子
●韓國仁川港日本居留地公立幼稚園內　通常會員　太田　ため子

○事務所申込
●日本橋區佐內町六番地　通常會員　鶴岡　ひさ子

○新潟支會入會者

○事務所申込
●仝市本町通六番町　特別會員　櫻井　うめ子

○高崎支會入會者

○岡本あさ子紹介
高崎市田町　通常會員　岡本　みね子

○相川靜嫁子紹介
●仝市柳川町　通常會員　山本　喜和子

○稻垣壽々子紹介
●仝市柳川町百六十七　通常會員　中村　のぶ子

○相澤小松子紹介

●全市紺屋町　通常會員　新井　てる子

一月分本欄中訂正の分

●齋藤孝子改　贊成員　齋藤　諄雄君

○米澤支會入會者

甲種　高野　まつ子
甲種　吉澤　りん子
乙種　金井　まさ子



●轉　居

會員諸姉御轉居の際は可成新舊兩所御記入事務所宛御一報相願候

●愛媛縣溫泉郡雄群村大字藤原白石氏方へ　俊野　いわ子
●長野縣小縣郡大門村聚川氏方へ　岩佐　くに子
●下谷區練塀町六十一番地へ　田代　はる子
●相州鎌倉長谷向井原二八七へ　福島　鶴子
●麴町區內幸町一の三へ　三島　千代子
●神田區五軒町十六番地へ　宇田川　利子
●淺草區下平右エ門町二十一番地へ　相坂　壽々子
●愛知縣寳郡豐橋町指笠町三十五へ　飯田　たづ子
●宮城縣仙台市北一番町十番地へ　遠藤　とよ子
●芝區松本町四十四へ　酒井　邦子
●高知縣土佐郡朝倉村横町百六へ　山梨　識子
●東京豫備病院澁谷分院四十五番室へ　竹内　いせ子

●交換寄贈雜誌（一月分）

●日本赤十字	京橋區築地二ノ二十一	日本赤十字發行所
●日本婦人	府下澁谷村字常磐松	帝國婦人協會
●日本皮革時報	本所區表町五七	益世社
●北海實業新報	北海道札幌區北二條二	東北海實業新報社
●統計集誌	京橋區山城町六	東京統計協會
●東京教育雜誌	神田區錦町一ノ二十	東京教育雜誌發行所
●東京市教育會雜誌	東京市役所內	東京市教育會
●をんな	麴町區下二番町二十七	大日本女學會
●大阪醫學會雜誌	大阪市東區淡路町一ノ三六	大阪醫學會
●家庭新聞	熊本市北新坪井町三	家庭新聞社
●學校新聞	福井縣福井市毛矢町	學校新聞社
●家庭雜誌	麴町區中六番町十	由分社
●萬問答誌	茨城縣筑波郡板橋村	萬問答社
●大日本私立衛生會雜誌	京橋區宗十郎町七	大日本私立衛生會
●體育	府下大井村字北濱川	日本體育會
●通俗衛生	大阪西區土佐堀通一ノ元	大阪私立衛生會
●牟婁新報	和歌山縣西牟婁郡田邊町	牟婁新報社
●藥學雜誌	牛込區下宮比町八	日本藥學會
●藥石新聞	大阪西區江戸堀下通	藥石新報社
●藥業公論	豐多摩郡內藤新宿北裏町	藥業公論社
●經濟新報	麴町區永田町二ノ十	經濟新報編輯部
●京濱實業新報	神田區北神保町八	京濱實業新聞社
●婦人世界	大阪南區鰻町通二丁目	浩鄰婦人會
●婦女新聞	牛込區東五軒町四十一	婦女新聞社
●婦人と子ども	本郷區女子高等師範學校	フレーベル會
●婦人	神戸市三ノ宮町一丁目	婦人協會
●福田會月報	麻布區笄町百三	福田會育兒院
●國家醫學會雜誌	本郷區富士町一	國家醫學會雜誌發行所

●工手の母　大阪北區西野田新家西ノ町番外　工手の母新報社
●衞生報知　神戸市相生町一ノ廿七　私立神戸市衞生會
●越佐教育雜誌　新潟縣市東仲通一番町　越佐教育雜誌社
●英學生　小石川區小日向臺町　東西社
●衞生・新報　下谷區池之端仲町　衞生新報社
●愛國婦人　麴町區飯田町一丁目　愛國婦人發行所
●あかつさ　埼玉縣埼玉郡越ヶ谷町　曉社
●産科婦人科學雜誌　日本橋區濱町三ノ七　産科婦人科學會
●草樂新聞　大阪南區心齋橋筋　草樂新聞社
●産婆學雜誌　日本橋區濱町三ノ七　日本産婆學協會
●兒童教育　神田區末廣町十　兒童新聞社
●神經學雜誌　小石川區駕籠町東京醫科大學精神學教室内　日本神經學會
●廣島衞生醫事月報　廣島市猶屋町　廣島衞生醫事月報社
●日本衞生週報　甲府市佐渡町十五　日本衞生週報社
●東京藥事新報　京橋區桶町四　東京藥事新報社
●東京小間物化粧品商報　日本橋區馬喰町二ノ十九　東京小間物化粧品商事務所
●家庭の友　本郷區西片町十　内外出版協會
●學校衞生　本郷區西片町十六ノ九　學校衞生研究會
●家庭　東京巣鴨二二五五　家庭社
●婦女新報　赤坂區榎坂町五　婦人新報社
●衞生談話　麴町區四ノ三十一　通俗衞生茶話會
●あはれみ　府下巣鴨町大字上駒込　動物虐待防止會
●催眠術新報　下谷區谷中坂町三六　大日本催眠術協會
●ひじり慈門寶鑰　愛知縣岡崎町　滋善堂發行所



●別紙本會々員名簿挿入致し置候若し謬誤脱漏も有之候へば御報導之程奉願候

大日本婦人衞生會

明治三十八年二月現在

私立大日本婦人衛生會本支會々員名簿

私立大日本婦人衛生會

私立大日本婦人衛生會名簿

總裁東伏見宮依仁親王妃周子殿下

會長　侯爵夫人　鍋島榮子
副會長　濱尾作子
幹事　鳩山春子
仝　羽田三緒子
仝　岡田德子
仝　高木鐐子
仝　山本多穗子
仝　松平芳子
仝　三浦敎子
評議員　伊集院しげ子
仝　石川さだ子
仝　濱田捨子
仝　仁禮壽賀子
仝　西升子
仝　穗積歌子
仝　緒方悅子
仝　岡山とし子
仝　男爵夫人　加藤鈴子
仝　片山龜子
仝　子爵夫人　田中以代子
仝　丹波貞子
仝　高橋孝子
仝　田村き代子
仝　相馬陸子
仝　男爵夫人　南部隈子
仝　中濱芳子
仝　伯爵夫人　松平充子
仝　子爵夫人　松井正子
仝　木場小百合子
仝　岸澄子
仝　三宅藤子
仝　宮本樂子
仝　宮下咲子
仝　缺員一人

本會賛成員（●は本會に於て講演せし諸氏）

日本橋區久松町四十
小川區戸崎町六十一
京橋區南鍋町一ノ七
地方
地方
本郷區弓町貳丁目
地方
麹町區平河町赤十字社內主官
四谷區大番町十九
小石川區金富町三十三
神田區北甲賀町十
小石川區音羽七ノ十
赤坂新町三ノ十五
本郷區東片町百十六
麹町區下二番町四十六
麹町區三番町三十六
本郷區東片町百三十一
本郷區曙町十六
麹町區三番町五十三
麹町區上二番町四十四
麹町區五番町十四
神田區小川町五十一
麹町區富士見町四ノ四
本郷區西片町百ノ二
神田區北伊賀町

醫學博士
理學博士
ドクトル
醫學士
ドクトル
醫學博士
理學博士
醫學博士
法學博士
醫學博士
衛生局長
醫學博士
醫學博士
醫學博士
醫學博士
醫學士
醫學博士
一等藥劑官
文學博士男爵
ドクトル
醫學士
醫學博士
醫學博士
醫學博士

●入澤達吉
●飯島魁
●伊澤信平
●色川圀士
●伊東祐彦
●飯盛挺造
●伊藤隼三
●岩井禎造
●石川千代松
●濱尾新
●濱田玄達
●嶋山和夫
●秋原彌四郎
●芳賀榮二郎
●長谷川泰
●緒方正規
●土肥慶藏
●岡田和一郎
●大澤謙二
●大西秀治
●大澤岳太郎
●恩田重信
●加藤弘之
●加藤照麿
●賀古鶴所
●河本重太郎
●片山國嘉
●金杉英五郎

芝區芝伊皿子町七十五
京橋區西紺屋町十
麹町區内幸町一ノ三
下谷區練塀町田代病院
赤坂區高樹町八
神田區駿河臺鈴木町二
本郷區駒込妙義坂二五三
下谷區東京衛生試驗所
本郷區弓町二ノ二十四
本郷區西片町十
麻布區本村町四十四
麹町區有樂町胃腸病院
赤坂區青山南町七ノ三
麹町區下二番町七十四
本郷區彌生町二、は十ノ十七
麹町區富士見町五ノ四三
京橋區築地三ノ十五
下谷區仲徒町二ノ三十五
本郷區駒込千駄木町五十五
本郷區元町
小石川區指ヶ谷町盲啞學校長
麻布區宮村町七十八
小石川區高田老松町二十一
小石川區豐川町二十四
神田區北伊賀町十四
牛込區東五軒町十四
日本橋區矢ノ倉病院

ドクトル
醫學博士
法學博士
醫學博士
男爵
醫學士
藥學博士
藥學博士
大日本教育會長
理學博士
男爵
醫學博士
藥學博士
學博士
醫學博士
醫學博士
醫學士
醫學士
醫學士
衛生試驗所技手
ドクトル
醫學士
文部省書記官
子爵
ドクトル

●高山紀齊
●高木兼寛
●高木豐三
●田代義德
●高崎正風
●高田畊安
●丹波敬三
●田原良純
●辻新次
●坪井正五郎
●南部
●長與稱吉
●長井長義
●中濱東一郎
●隈川宗雄
●山根正次
●山田鐵造
●丸茂文良
●丸山長四郎
●小此木信六郎
●小西信八
●古川榮
●布施正顯
●エ、ベルツ
●甲野誠
●寺田勇吉
●秋元興朝
●足立寛
●新井古芳

神田區北甲賀町十一	醫學博士	●佐々木政吉
	ドクトル	●朝山義六
日本橋區矢ノ倉櫻井病院長	醫學士	●櫻井郁二郎
品川大横町		齋藤清文
獨逸留學中		櫻井恒次郎
麴町區三番町三十三	醫學博士	●榊順二郎
麻布區今井町二十二	醫學士	●北村精造
本郷區森川町一中通	醫學博士	●木下正中
	ドクトル	●北川乙二郎
神田三崎町三ノ一	醫學博士	●三浦守治
神田區北甲賀町三	醫學博士	●三浦謹之助
京橋區築地二ノ三十	醫學博士	●三島通良
小石川區竹早町八十一	醫學博士	●三宅秀
小石川竹早町八十一	醫學博士	●箕作佳吉
神田區雉子町三十一		●宮本仲
神田區三崎町三ノ一	醫學博士	●三輪信太郎
	醫學士	●島村俊一
小石川區林町六十二	伯爵	土方久元
麴町區飯田町六ノ十九	醫學博士	●弘田長
小石川區春日町四十九	ドクトル	●須田卓爾
神田區小柳町十三		小高良造
神田區淡路町二ノ四第一號	醫學士	●佐藤恒久
牛込市谷砂土原町三ノ十六	醫學博士	●栗本東明
麴町區中六番町二十四	醫學博士	●高橋順太郎
神田區南甲賀町十七	醫學博士	●朝倉文三
京橋區元數寄屋町三ノ七	獨逸留學中醫學士	●林泰雄
麻布區仲ノ町十八川邊普因方		廣瀨勝太郎
芝公園五號	醫學博士	●北里柴三郎
下谷區徒士町三ノ五十八	醫學士	●笹川三男三

獨逸留學中		●神保三郎
麴町區虎ノ門女學館內		西田敬止
小石川區大塚窪町四十三		高嶺秀夫
本郷區森川町一		大枝美福
神田南神保町八		原胤昭
本郷區西片町十ろノ十	醫學博士	●吳秀三
神田區錦町三ノ四	小兒科	小原賴之
神田區猿樂町十二	産科婦人科	●水原漸
日本橋區本石町二ノ七	醫學士	●田村光顯
獨逸留學中	醫學士	●久保猪之吉
秋田縣小坂鑛山病院	醫學士	米山彥郎
本郷區西片町十ろノ十	醫學士	●佐藤遠次郎
四谷區本村町三十七	ドクトル	●山上兼輔
神田區小川町六〇	醫學士	●宮本淑
京橋區西紺屋町七河岸	ドクトル	●志村誠麿
牛込區市谷田町五十一	步兵中佐	●堀內文次郎
本郷駒込動坂四	醫學士	●石原久
本郷東片町一五二	醫學士	石原喜久太郎
本郷區曙町十六	醫學士	●唐澤光德
本郷西片町九	ドクトル	富士川游
芝區三田二ノ十四	醫學士	●松山棟太郎
在職地	醫學士	●山田弘倫
本郷湯島天神町一ノ五十		平井貞吉
下谷練塀町三五	醫學博士	●桐淵鏡次
本郷區千駄木町二十二	醫學博士	森林太郎
小石川區中富坂町二十八	醫學士	●橋本左武郎
麴町區中六番町三十一		●島田三郎
	子爵	●小笠原長生
小石川區竹早町九〇	醫學士	●栗本庸勝
神田區小川町一		成田文太夫

本郷駒東片町百五十二　醫學士　磐瀨雄一
神田區裏猿樂町　醫學士　・能勢靜太
神田區駿河臺鈴木町十六　醫學士　・遠山椿吉
本郷區弓町　醫學士　・大野豐吉
小川區小日向臺町一ノ八　醫學士　・木村德衛

●修身會員之部

（いろは順）

本郷區三組町八十六　石崎つろ子
麹町區二番町三十一　井上むつ子
本郷區春木町二ノ五十六　伊東まき子
小石川區金富町三十三　濱尾作子
小石川區音羽七ノ十　鳩山春子
京橋區築地三ノ四　男爵夫人　花房千鶴子
小石川區小日向臺町二ノ二十　長谷川仲子
神田區北甲賀四　西邑せつ子
東海道大磯別莊　西升子
芝區三田綱町十　仁禮寡賀子
牛込區揚方町九　穂積歌子
本所區松井町三ノ二　本多幸子
牛込區早稲田町　伯爵夫人　大隈綾子
淺草區新森田町二　大谷嘉知子
本郷區西片町十ろノ十六號　岡澤わか子
麹町區上二番町四十四　男爵夫人　加藤鈴子
牛込區市谷砂土原町二ノ一　加藤春路子
麻布區穴狸町四　伯爵夫人　川村春子
深川區島田町九　鹿島いと子
小石川區茗荷谷町八十一　笠井梅野子
四谷區鮫橋南町四　勝間田千代子
麹町區中六番町三十六　高木くら子
京橋區四組屋町十　高木とみ子
麻布區市兵衛町一ノ五　田中とら子
小石川區水道端町二ノ四十一　子爵夫人　田中すま子
本郷區駒込妙義坂二百五十三　丹波貞子
府下荏原郡入新井村千五百五十　玉塚とよ子
麻布區本村町四十七　男爵夫人　南部限子
牛込區砂土原町一ノ三　鍋倉梅子
麹町區霞ケ關一外務省構內　中村久眞子
神田區淡路町一ノ四　宇津木しげ子
小石川區諏訪町二十九　上原豐子
日本橋區本船町中村屋方　山崎かつ子
本所區相生町四ノ十七　山本喜代子
本所區緑町二ノ廿四　子爵夫人　牧野美子
府下大久保村東大久保高場　侯爵夫人　前田朗子
麹町區上六番町三十二　眞野たか子
下谷區谷中天王寺町四　藤村美代子
芝區公園十一號地ノ八　安達芳子
芝區公園十五號地ノ二　岸澄子
京橋區因幡町七　宮下咲子
小石川區水道町二　三井捨子
小石川竹早町八十一　三宅ぷし子
神田區北甲賀町三　三浦數子
小石川區武島町九　清水しづ子
下谷區中根岸四十一　清水とく子
日本橋區中洲第五號ノ一　日比谷もと子
赤坂區青山南町六ノ百三　森寛子
芝區高輪北町三十　茂木操子

●特別會員之部

（いろは）

淺草區猿若町一ノ三十七　岩田晴子
芝區高輪南町　男爵夫人　岩崎早苗子
麴町區永田町二ノ三十三　伊集院しげ子
芝區田町七ノ六　今村家壽子
芝區高輪車町三十八　子爵夫人　伊東ちせ子
京橋區築地三ノ八　池田米子
麴町區紀尾井町三　岩下ゆか子
四谷區大番町十九　石川定子
府下品川町北品川宿七百廿七　男爵夫人　池田覺子
麴町區中六番町四十　子爵夫人　井上きよ子
麴町區三番町八十四　磯邊あや子
京橋區富島町二　飯田峰子
小石川區戸崎町六十一　飯島つる子
赤坂區一ツ木町八十一　羽田三緒子
小石川區指ヶ谷町九　長谷川てふ子
下谷區龍泉寺町百四十八　原れい子
神田區駿河臺袋町十三　須田捨子
小石川區林町四十四　須欽子
下谷區龍泉寺町四百十　原久子
麴町區永田町二ノ一　早田純子
麴町區飯田町四ノ三十一　橋本とよ子
京橋區木挽町十ノ十四　林さと子
京橋區三十間堀三ノ十七　男爵夫人　四部子
芝區田町一ノ十　男爵夫人　本多梅子
小石川區原町三十四　穗積松子
本郷區曙町十六　畑ぎん子
芝區三田綱町一　伯爵夫人　德川知子
赤坂區青山南町六ノ三十　德富靜子
本郷區向岡彌生町三　子爵夫人　戸田とき子
麴町區下二番町四十六　土肥多越子

麴町區三番町三十六　岡田德子
赤坂區氷川町五十一　太田龍子
本郷區東片町百十六　緒方悅子
牛込區早稻田町　大隈熊子
芝區城山町八　大岡榮子
麴町區平川町六ノ十四　岡山とし子
日本橋區小網町四ノ五　大森ちやう子
神田區西小川町一ノ八　岡村歷子
神田區錦町三ノ四　小原榮子
四谷區右京町十三　尾崎菊枝子
牛込區北山伏町二十　大澤つや子
麴町區土手三番町十　岡野いく子
京橋區築地一ノ一　大谷作子
麴町區飯田町四ノ二　沖野りう子
牛込區東五軒町二十九　小川孝子
牛込區大久保余丁町六十一　小山榮子
麴町區飯田町四ノ九　鷲山彌生子
麴町區五番町十四　加藤常子
本郷區西片町十、ろノ二　片山かめ子
麴町區一番町三十　金子家壽子
神田區北甲賀町　金杉松子
麴町區飯田町六丁目　樫村榮子
赤坂區赤坂裏町　男爵夫人　川口直子
麻布區芝森元町二ノ廿三　河島ぶん子
麴町區富士見町四ノ四　河木かめ子
四谷區仲町三ノ四十七　加藤雛子
麴町區下二番町四十一　吉武輝枝子
芝公園七號ノ八　吉田よし子
麻布區三軒家涯門教會內　横田秀野子
麴町區上二番町廿五　公爵夫人　鷹司順子

日本橋區元大工町九　高橋瑞子
麹町區内幸町一ノ三　高木鐐子
芝區伊皿子町七十五　高山愛子
麹町區一番町　子爵夫人　田中いよ子
麹町區中六番町二十四　島橋ルイゼ子
日本橋區本町二ノ十二　高橋孝子
日本橋區本石町二ノ七　川村きよ子
下谷區練塀町六十一　田代はる穂
四谷區仲町三十五　相馬隆子
芝區巴町二十九　岡田きん子
麹町區飯田町五丁目　曾根しん子
本郷區弓町二ノ二十四　辻さと子
本所區大平町一ノ一　津輕りき子
麹町區下二番町七十四　中濱芳子
日本橋區蠣殼町三ノ五　長井とし子
麹町區永田町二ノ一　侯爵夫人　鍋島榮子
牛込區南町三十三　中村音海子
麻布區北日ヶ窪　長與園子
小石川區宮下町十　中村春子
麹町區中六番町五　中村禮子
牛込區藥王寺前町四十三　中村つね子
小石川區原町十三　中村銑子
淺草區左衛門町一　中山幸子
日本橋區呉服町二十二　中野咲子
芝區四久保城山町一　植村まき子
本郷區金助町十二　男爵夫人　野田すみ子
赤坂區福吉町一　侯爵夫人　黑田清子
本郷區彌生町二は／十七號　股川京子
本郷區曙町十六　久保よりえ子

（下へ）

牛込區市谷仲町五十七　織田しげ子
芝區三田綱町十　宍戸子
赤坂區檜町三　山脇ふさ子
麻布區東町二十　山地謙子
牛込區拂方町九　山口てい子
麹町區上二番町三十八　山木多磯子
四谷區元鮫ヶ橋町五十八　伯爵夫人　松平充子
麹町區飯田町六ノ二十　子爵夫人　松井正子
赤坂區表町四ノ四　松平芳子
牛込區津久土八幡町五　松井喜伊子
麹町區飯田町六ノ二十　松井倫子
本郷區龍岡町八　子爵夫人　松平八百子
赤坂區表町四ノ四　松井滿滿子
麻布區材木町二十四　松岡光子
京橋區出雲町一　福原とく子
本郷區弓町二ノ二十四　古市こう子
本郷區根津片町二十二　藤井部子
府下新宿北裏町百十五　木場小百合子
赤坂區青山南町三ノ六十六　小松いさ子
神田區北甲賀町十四　子爵夫人　秋元宗子
麹町區上六番町二十　足立清子
本郷區弓町二ノ三十四　青山孝子
淺草區福井町一ノ六　青木すゞ子
神田區南甲賀町十七　朝倉ゆき子
京橋區木挽町十七　秋田治子
芝區神谷町十八　相磯まさ子
芝區三田松坂町三十四　阿部優子
麹町區上二番町四十四　榊梅子
神田區淡路町二ノ四、一號　佐藤梅峯子
神田區北甲賀町十一　佐々木芳子

本郷區湯島新花町九十八　佐藤らく子
赤坂區靈南坂町十七　齋藤春子
本郷區西片町十はノ十九號　佐藤みさほ子
小石川區原町百二十六　坂谷こと子
京橋區築地明石町三十一　佐藤うた子
芝區城山町一　清浦とよ子
本郷區弓町一ノ　菊池たつ子
麹町區四番町五　木内磯路子
日本橋木町一ノ十二　菊池みや子
牛込區砂土原町一ノ二　菊池みれ子
麹町區富士見町五ノ十　三井晴子
麹町區富士見町一ノ廿九　三井五十子
神田區雉子町三十一　宮本樂子
芝區伊皿子町　三井曉子
麹町區二番町十四　三輪田眞佐子
麹町區永田町二　下田歌子
神田區北甲賀町十七　清水たけ子
麹町區富士見町一ノ一　品川英子
麻布區三河臺町三十二　白石まむ子
牛込區若宮町四十一　首藤淑子
麹町區飯田町六ノ十九　弘田益子
日本橋區住吉町二十二　樋口八重子
芝區榮町十三　伯爵夫人　久松貞子
神田區駿河臺袋町十二　男爵夫人　平田述子
京橋區南小田原町四ノ一　森岡きみ子
淺草區吉野町二十四　百瀬きよ子
小石川區原町十三　茂木政子
京橋區南佐柄木町五　守屋千代子
芝區高輪南町　毛利安子
小石川區春日町四十八　須田しつ子

四谷町須賀町二十四　杉村よし子

通常會員ノ部

いノ部　（いろは順）

牛込區早稲田馬場下町三十五　犬養千代子
牛込區東五軒町四十二　伊藤琴子
芝區田町一ノ十二　石河里子
麹町區永田町一ノ十七　男爵夫人　伊東やへ子
赤坂區溜池榎坂町四　岩野幾世子
赤坂區氷川町四十五　磯部鍬子
麻布區宮村町四十二　伯爵夫人　井上武子
芝區巴町二十四　石黒よし子
小石川區指ヶ谷町盲啞學校　石川さの子
府下豐多摩郡千駄ヶ谷村原宿二〇二　井口德子
本郷區本郷四ノ三十五　石井關子
神田區駿河臺鈴木町五　五十嵐つね子
本郷區曙町十六　岩永さと子
本郷區曙町十六　今村求子
赤坂區臺町二　石黒すま子
本郷區天神町一ノ九十四　今田初子
四谷區坂町九十　稻垣かつ子
神田區北甲賀町九　男爵夫人　池田甲子子
麹町區飯田町一ノ四　一井てい子
下谷區谷中清水町一　犬養かつ子
神田區今川小路三ノ三　出淵のふ子
本郷區駒込曙町七　巖崎琴子
赤坂區青山北町六ノ三十三　石光佐家子
牛込區袋町八　飯田幸子

芝區三田四國町二十八　井上美代子
神田區猿樂町十七　井本秀子
小石川區西原町二ノ四十　井ノ口たす子
京橋區楠町二十六　石崎ひさ子
四谷區荒木町廿七、ぬ十二　伊藤こう子
本所區龜澤町二ノ三　磯部つや子
本郷區西片町十、ろノ八號　祝のぶ子
日本橋區久松町廿九、看護婦會　井上なか子
芝區櫻川町二　石丸德子
芝區榮町十七　伊藤俊子
深川區富岡門前町四十七、高等看護婦會　飯田たい子
麻布區宮村町九　井倉れい子
本郷區駒込西片町十、いノ十三號　石井ふみ子
小石川區白山御殿町百七簡野道明方　家坂みよの子
日本橋區小傳馬町一ノ三　伊藤とり子
牛込區藥王寺前町五十一芹澤氏方　岩船貞子
麴町區隼町三十七　磯野きく子
京橋區日吉町六　伊藤とく子
日本橋區小傳馬町三ノ一　石久保美伊子
神田區鍋町三ノ二大關方　今井稻子
京橋區舟松町十五番地　池谷八重子
本郷區駒込西片町十、ほノ廿三號　稻田きく子
日本橋區久松町杉浦方　伊藤みれ子
日本橋區長谷川町一片山方　岩佐この子
小石川區巣鴨病院內　石橋はや子

は ノ 部

本所區北二葉町二十五　畠山八重子
麻布區芝森元町一ノ十　原田道子
本郷區駒込病院內　濱田千代子

赤坂區青山南町六ノ七十六　橋本ちせ子
麴町區富士見町四ノ十一　林竹子
本郷區西片町十、ヘノ五號　服部もと子
麴町區飯田町三ノ十五　原みつ子
日本橋町北鞘町二　林つろ子
神田區小川町四十一　林さく子
神田區南甲賀町八　原政子
小石川區林町十三　四番地　馬場きく子
牛込區北山伏町三十五　橋本滋子
下谷區二長町三十八番地　早川花子
京橋區南鍋町一番地　橋本くら子
芝區三田四國町二番地、十四號　八田てつ子
深川區富岡門前東仲町八　林田曉子
赤坂區新町三ノ四十四　長谷川たよ子
麻布區飯倉片町三十一　服部鎭子
芝區神谷町十八番地　原田基礎子
小石川區原町百三十三　萩原ひさ子
淺草區駒形町三十二　橋本いま子
牛込區白銀町三十番地　早川待子
麻布區宮村町四十二井上伯邸內　林節子

に ノ 部

麴町區飯田町六ノ十六　西尾京子
牛込區仲町十一　仁尾しげ子
牛込區辨天町九十九　西野喜子
深川區冬木町十番地　庭井節子
本郷區春木町三ノ三十七　二宮とく子
神田猿樂町十二水原病院　西村藤子
小石川區掃除町三十五、鈴木方　新妻要子
下谷區二長町五十二　西川ぬい子

ほノ部

赤坂區青山南町七丁目青山學院	本多てい子
日本橋區坂本町十七鈴木啟方	堀田いわ子
深川區富岡門前町四十七	堀越みつ子
神田區鍛冶町七	堀内えん子
日本橋區久松町二十九	堀内たか子
本郷區新花町九十三	堀部夏子

へノ部

牛込區鷹匠町三	別役ゆか子
麴町區四番町三輪田女學校内	兵頭かほる子

とノ部

牛込區若宮町十三	豐島清子
牛込區辨天町四十	鳥貝ろく子
牛込區若松町百三十	戸川信子
牛込區二十騎町十六小山田方	戸川操子
日本橋區蠣殼町一ノ十四看護婦會	戸崎つる子
神田區四小川町一ノ九	友田多磨子
京橋區新富町六ノ十一	富山孝子
牛込區矢來町十四	東儀ゆき子

ちノ部

麴町區永田町二ノ七	長郷千代子

おをノ部

小石川區原町十	沖きよ子
麴町區八重洲町二ノ四、松井氏方、六號官舍	大谷てう子
京橋門豐多摩川岸二十五號	岡富子
本郷區湯島新花町七十四	大澤とよ子
麴町區富士見町二ノ三	太田もと子
麴町區上六番町三十一	奥田たか子
神田區錦町三ノ一	大淵ちか子
本郷區東片町百三十一	大澤さく子
本郷區順天堂病院	大久保晃子
下谷區徒士町一ノ四	大森くめ子
京橋區銀座三ノ三	岡崎ふさ子
麻布區三軒屋町三十八	小倉すゞ子
麻布區本村町百七十四	岡崎きよ子
豐多摩郡千駄ヶ谷村	侯爵夫人 大山捨松子
麴町區中六番町十一	小山田かち子
豐多摩郡戸塚五百七十三	小川まつ子
本郷區西片町十、とノ四	越智留子
麴町區永田町二ノ十三	大島つい子
芝區神明町二十五田村氏方	奥山とし子
牛込區原町一ノ五十七	小田川みつ子
芝區三田四丁目七	大木次子
牛込區仲町三十三	岡崎い志子
麻布區飯倉狸穴町四、川村伯邸	落合あや子
麻布區龍土町五十八	小田切汌乃子
淺草區千束町二ノ百廿八	及川かれ子
日本橋區濱町二ノ十二、南ノ九十六	大八木幸子
麻布區東鳥居坂町九	大島貞子
麴町區有樂町三ノ一	岡村まさ子
京橋區南八丁堀一ノ十五	岡本春子
小石川區高田豐川町日本女子大學校正成寮	大岡つた子
四谷區内藤町一	奥村ふみ子
日本橋區駿河町十	小野かれ子
芝區櫻川町二番地室友尾方	岡村しげ子
本所區横網町一ノ十九	小川いと子

小田貞子　赤坂區表三丁目二十二
奥村ます子　京橋區木挽町二ノ十三
老沼はな子　芝區伊皿子町十七

わノ部

渡辺よれ子　日本橋區茅場町四十九
和田垣つな子　牛込區東五軒町三十五
若林かれ子　日本橋區濱町三ノ一
渡辺松子　赤坂區新坂町廿一
和田英子　本郷區西片町十
渡邊節子　日本橋區龜島町一ノ十八
渡辺れん子　小石川區茗荷谷町五十二
渡辺てる子　神田區松永町二十二
渡辺かづ子　麹町區元園町二ノ九
渡辺仙子　牛込區大久保余丁町百九

かノ部

川上やす子　麻布區東町二十四
神吉まさ子　男爵夫人　麹町區富士見町六ノ二
賀茂美子　麹町區富士見町五ノ十九
神田德子　神田區淡路町二ノ九
加藤つる子　赤坂區青山穏田三十二
河津敏子　小石川區白山御殿町百十
川田みつ子　牛込區新小川町二ノ十
門野駿子　麻布區霞町一
加藤きよ子　芝區巴町二十四
加藤展子　芝區高輪車町五十五
河村初子　本郷區元町二ノ六六
上泉ひさ子　麻布三河臺町二十九
金坂すゞ子　牛込區市谷加賀町十二
河村千代子　牛込區横寺町五十一
河原久子　麹町區三番地二十
川地遊龜子　牛込區若松町五十九
河野きし子　四谷區愛住町三十八
川添はる子　芝區西久保神谷町十八
金原美好子　京橋區采女町二十八
鹿島しん子　淺草區千束町二ノ二百五十八
河野もゝよ子　神田區鈴木町二、東洋内科醫院內
河合さと子　日本橋區久松町廿九杉浦方
風間明子　本郷區西片十、ほノ三號
金原てい子　芝區高輪北町三十一
加藤あい子　下谷區仲御徒町小學校內
柿添隆子　牛込區東五軒町四十三
川島けい子　本郷區丸山福山町二十
河野正子　麹町區飯田町六ノ十二
加藤ゑん子　日本橋區川瀬石町十七
神取てう子　赤坂區青山北町五ノ四十三
鹿島たき子　京橋區木挽町九ノ三十
龜田輝子　淺草區向柳町二丁ノ一

よノ部

吉原よれ子　本郷區元町一ノ六
吉田賢子　京橋區銀座三ノ廿一
米津たか子　京橋區南鍋町二ノ九
吉原かや子　麻布區今井町卅九
奥倉幹子　牛込西大久保村四百六十
依田豊陽子　牛込區市谷町十一
吉武あい子　牛込區大久保余丁町十九
米井鶴松子　麹町區內幸町一ノ三
横畑乙二子　深川區中島町五、増田方
由水つれ子　神田區美土代町一ノ十八

下谷區車坂町四十九　吉田錦子
京橋區靈岸島靈町八　吉田よし子
小石川區小日向臺町二ノ十六　横山蔀子
麹町區三ノ二、河村方　吉本きぬ子
小石川區久堅町十二　吉田せつ子
芝區高輪町三十六、吉本太郎吉方　吉木すゞ子
麹町區三番町六十七、弘光方　横矢ゆき子
下谷區上野五條町五　横内百子
本郷區彌生町三、とノ四十五號　横尾よし子
牛込區新小川町一ノ五　吉野梅子
麻布區宮村町六十七　芳川新子

た ノ 部

麹町區永田町二ノ七　高島つる子
本郷區西片町十、へノ十六　田口つる子
四谷區鮫橋五十九　財部さわ子
神田區北甲賀町八　田村てう子
神田區仲猿樂町一ノ[illegible]　高橋清子
神田區今川小路一ノ[illegible]　田中こう子
神田區鈴木町十二　高田てる子
京橋區木挽町一ノ十[illegible]　高山らく子
牛込區納戸町二十六　高山さき子
小石川區西原町二ノ十五　田中てる子
赤坂區青山高樹町八　立川貞子
神田區小川町六十宮本淑方　丹治春子
麹町區平河町六丁目十二　武富すゑ子
麻布區霞町一　玉利のぶ子
本郷區西片町十、ろ二十四號　竹村てい子
本郷區西片町十、にノ二十九　高倉つな子
牛込區早稻田南町四十三　高木とみ子

小石川區關口臺町　高田藤子
麻布區笄町百七十　田村あき子
麹町元園町一ノ六　田中かま子
麻布區三軒家町五十二　辰巳富野子
本郷區本富士町二　立川よれ子
牛込區下宮比町二　田中とよ子
芝區西久保巴町七十九　玉木とよ子
本郷區湯島天神町一ノ廿四　高橋泰子
牛込區辨天町百四十七　谷森鏡子
芝區西應寺町六十一　武田よし子
東京豫備病院澁谷分院四十五番室　竹内いせ子
麹町區富士見町五ノ二十三　高島なを子
牛込區船河原町十三　高木やす子
芝區高輪南町五十二奥平邸内　瀧澤ふゆ子
日本橋區本銀町四ノ九　高木こう子
牛込區市谷仲ノ町卅九比留方　竹上はる子
淺草區千束町三ノ九十五　高橋のぶ子
淺草區聖天町六十一、丹陽方　多田絲子
京橋區新船松町九、延次郎方　辰澤町子
赤坂區臺町六十一　竹内有樂子
本郷元町二ノ四十七　田中せい子
神田駿河臺袋町産科婦人科病院　玉井ちとせ子
日本橋區佐内町八、鈴木久吉方　高橋みつ子
京橋區西豐玉川岸二十九號　竹村つや子
京橋區村木町三ノ十一　高岡春子
京橋區南鍋町一ノ一　田中千世子
芝區櫻川町二　高塚まち子
芝區金杉濱町七十二、十九號　田中菊子
芝區三田小山町一　高濱絹子

つね ノ部

本郷區四片町十、いノ十一　坪井なを子
麹町區富見町五ノ九　佃うめ子
麹町區下二番町　津田勝子
牛込辨天町百四十四　鶴見千代子
日本橋區箱崎町三ノ二　塚原梅子
本郷區駒込追分町三十一　塚本浪子
日本橋區通四ノ七　津村、文子
日本橋區佐內町六　鶴岡ひさ子
下谷區池ノ端茅町二ノ四　根岸かな子

な ノ部

深川區佐賀町二ノ二十二　長江しげ子
本郷區駒込千駄木林町二百二　中島たけ子
麻布區本村町百八十五　中島鉞子
牛込區辨天町六十七　南部靜枝子
芝區明舟町十九　內藤千代子
牛込區早稻田南町八　中山樂子
牛込區市谷富久町島瀨隆滋様方　中島きよ子
日本橋新常町　濤川米子
麹町區飯田町六ノ二十六仁壽醫院內　奈良かな子
下谷區仲徒町小學校內　中村い代子
東京巣鴨病院內　永松あい子
深川區西平野町一　中島四津子
京橋區南八丁堀一ノ十五　中村美根子
小石川區小日向臺町三丁目　南部きし子
麹町區九段坂下看護婦會　中尾しづ江子
麹町區平河町八　中村久子
神田區元岩井町廿八　長本つた子
芝區西久保神谷町十八　中山良子

む ノ部

日本橋區元大坂町十一　村山すえ子
小石川區竹早町三十七　村山ふく子
芝區白金三光町五十八　向山靜子
牛込區市ケ谷仲ノ町一　村木きくゐ子
麹町區飯田町四ノ二十五　武笠美以子
神田區南甲賀町九　室賀歌子
赤坂區福吉町二　村上部子
小石川區日本女子大學成生寮　村松いし子
芝區櫻川町二　室ともゑ子
本郷區西片町十ほの廿九　村上靜子

う ノ部

芝區高輪南町五十七　上野幾子
麻布區三軒家町四十一　上村き代子
京橋區釆女町三十六　浦島てい子
日本橋區通四丁目　牛山竹代子
神田區東紅梅町十三　內田すま子
麹町區三番町　子爵夫人　瓜松千代子
四谷區東信濃一ノ十　內山訓子
京橋區銀座三丁目十九　植木ゆき子
本郷區曙町十六　內山蘭子
麹町區下六番町五十二　馬屋原ひさ子
神田區五軒町十六　宇田川利子
麹町區下二番町、日本赤十字社四十四救護班宿舍　碓田ぶん子
牛込區若松町百三十七　梅津禮子
本所區外手町八十六　宇數かつ子
日本橋區本材木町一ノ十五　內田なか子

赤坂區青山南町五ノ四十五　内村とし子

のノ部

内谷區信濃町八　野崎わか子
本郷區東片町四十四　野口さん子

くノ部

小石川區金富町三十五　久保田八重子
麴町區飯田三ノ四　熊澤しま子
麻布區笄町七十九　日下部政子
麴町區道三町二　久保田不二子
京橋區築地明石町五十七　久保田靜子
本郷區西片町十に廿七　呉みな子
芝公園第十七號ノ三　隈本ちゑ子
芝區西久保明舟町十九　黑須まき子
日本橋區久松町杉浦邪薩鉉甘　桑原美代子
麴町區飯田一ノ八船曳方　國友なか子
京橋區弓町二十四　黑河内朝子
府下千駄谷八幡前三七一　國島梅子
京橋區築地明石町三十一　黑澤きく子
麴町區飯田町五ノ三六藤澤方　久保とも子

やノ部

芝區榮町八　山田そよ子
牛込區市谷宮久町百二十六　男爵夫人　安保よれ子
牛込區矢來町三番中の丸三十一　山川二葉子
四谷區本村町三十七　山上よし子
芝區本芝三ノ十五　山岡せい子
赤阪區靈南坂町二十　山際はる子
芝區田町四ノ六　山田くめ子
芝區三田四國町十五　山口せき子
麴町區上二番町三十三　矢島かち子
京橋區南小田原二ノ九　山室さか子
京橋區築地二ノ五藤田方　山本たま子
牛込區市谷宮久町百二十六　男爵夫人　安保操子
赤坂區靈南坂町二十六　矢部ふさ子
麴町區平町二十　山本じつ子
芝區南佐久間町二ノ十五　矢野ふみ子
牛込拂方町十一　山田拾子
赤坂區丹後町一廿五號　山崎管雄子
赤坂區新町三ノ十八　山崎しん子
本郷區駒込丸山新町廿一　保岡愛子
赤坂區青山北町五ノ三十七　安村忠子
麴町區上六番町四十七　山口雪子
芝區櫻川町二、室方　山田もと子

まノ部

芝區三田三ノ十四　松山信子
麴町區中六番町二十七　町田ふじ子
下谷町仲徒町二ノ三十五　丸茂むれ子
牛込區上宮比町八　增田せい子
芝區櫻川町十　牧かれ子
赤坂區青山南町六ノ三十一　增野寧子
芝區三田一ノ廿八　伯爵夫人　松方政子
神田區北神保町十八　馬島園子
麻布區三軒家町二十　松崎すぎ子
本郷區西片町十いの七　町野こま子
小石川久堅町七十一　牧野英子

日本橋區箱物町二十五　松澤安子
日本橋區新材木町十四　松下つれ子
日本橋區四河岸町十二前田方　松本てる子
牛込區市ケ谷仲ノ町五十二　松浦つろ子
麹町區富士見町一の三十　眞崎まつ子
日本橋區蠣殻町二ノ十九　増岡敷子
小石川區白山御殿町百十、　丸尾しげ子
神田錦町一ノ十四　松木文子
本郷區西片町十にの四　松山啓子
芝區三田四國町二十七號　松永そよ子
芝區三田綱町一、徳川邸内　松野齊子
牛込區拂方町三　前田りつ子
本郷區天神下同朋町十二　前島あか子
京橋區築地二ノ二内保方　松川多喜子

ふノ部

麹町區飯田町一ノ八　船曳みき子
芝區小山町五　藤田閑子
麻布區材木町五十　藤岡千勢子
内藤新宿御料地内　福羽てい子
牛込區市谷仲ノ町五十二　古川のぶ子
麻布區笄町百二十九　福永淺子
麹町區一番町三十九　福島多喜子
下谷區仲徒町小學校内　藤牧ふじ子
淺草區猿若町一ノ十二　福島こと子
麹町區三年町五島津方　福地衣子
麹町區永田町二ノ一鍋島邸内　古川喜代子
神田區猿樂町十九　古谷揚子
小石川區諏訪町三十六　藤澤すま子
日本橋區久松町二十九杉浦方　藤原小照子

神田區豊島町二十一　藤井千代子
麻布區飯倉森元町一ノ二十七　藤川修子
本郷區駒込蓬萊町二十　深井てる子

こノ部

日本橋區元大坂町十三　後藤はつ子
神田區仲猿樂町十七東都看護婦會　小林すて子
本郷區西片町十はノ二十四　近藤幸子
麻布區笄町三十八　兒島悦子
日本橋區蠣殻町二ノ七　小林つろ子
芝區高輪北町四十三　近藤花子
本郷區四丁目三十六川口方　小林さだ子
麻布區兵工町二ノ八十三　兒島まさ子
本郷區湯島五ノ十順天堂病院　後藤米子
日本橋區久松町二十九　近藤いく子
牛込新天町百六十　兒玉きよ子
麹町區五ノ二十一　小宮せん子

てノ部

小石川區豊川町二十四　寺田恒子

あノ部

麻布區簞笥町六十五　淺井梅子
芝區三田功運町十九　盧田操子
麹町區富士見町六ノ四　青戸さく子
京橋區南八丁堀一ノ二十八　綾井きん子
牛込區天神町七十一　青木すみ子
牛込區市谷加賀町二ノ二十　安藤さく子
本郷區元町二ノ四十八博愛看護婦會　渥美かな子

麻布區東鳥居坂町十　麻生留久子
淺草區平右衛門町廿一　相坂富美子
京橋區南鍋町十一　天田艶子
下谷區車坂町六十二　荒木てつ子
麹町區下六番町四十八　淺田みね子
日本橋濱町三ノ六　安達みつ子
神田區錦町三ヘ二大關方　朝倉ふみ子
本郷區本郷四ノ十三高橋方　秋谷よし子
麻布區市兵衛町一ノ一　秋山梅子
赤坂區青山南町六ノ百三十一　淺田みか子
麻布區笄町百九　安藤派子
神田區南甲賀町八原氏方　新井す美子

さノ部

芝四國町二、十二號　澤邊れん子
麹町區　間町三十二　實子
麻布區鳥居坂町九　實吉れん子
神田區錦町三ノ一大關方　佐々木かく子
麹町區永田町二ノ一　阪本房子
麻布區櫻田町四十四　佐々木順子
本郷區駒込二百三十二　佐藤都子
小石川區同心町一　齋田とき子
赤坂區氷川町三十六　相良濱子
小石川區白山御殿町百九　齋藤竹子
牛込區市谷加賀町二ノ二十六　侯爵夫人　西郷信子
京橋區築地三ノ十五　眞田みき子
京橋區木挽町十ノ六　坂本千代子
小石川區大塚仲町一　佐藤俊子
四谷區永住町二　佐伯みつ子
芝區公園第五號地ノ十五津田方　佐村三喜子
芝區四ノ久保葺手町二十四　佐伯すみ子
日本橋區小傳馬町一ノ二　酒井はま子
芝區松本町四十四　酒井邦子
神田區表神保町十なノ二十三　齋藤ます子
本郷區西片町十いの十三　坂田明子
深川區西平井町十五荒川方　澤地きせ子
本郷區根津宮永町三十五齋藤方　櫻井みち子
本所區相生町三ノ十八　坂口くに子
麹町區内幸町一ノ九　坂本操子
本郷區天神下同朋町十二　佐橋せう子

きノ部

麹町區紀尾井町三　北代幸子
赤坂區檜町六　子爵夫人　清岡かく子
芝區葺手町十七　木村ふみ子
府下駒場農科大學官舍　喜多山つせ子
麹町區富士見町一ノ二十八　木島美濃子
麹町區上六番町三十三　喜多村歌子
四谷區左門町百〇八　北澤信子
京橋區銀座二ノ十一　岸田駒子
芝區明舟町十八　木村つる子
京橋區築地三ノ十五安田方　木村れい子

ゆみノ部

本郷區追分町三十一、二號　湯池照子
府下千駄谷村徳川邸脇　三島わか子
小石川區竹早町八十二　三浦とめ子
小石川區林町四十一　宮崎よし子
麹町區五番町二　三浦とき子

麹町區內幸町一ノ三　三島千代子
芝區明舟町十二　宮崎爲子
小石川區小日向臺町二ノ七　溝淵駒衛子
神田區猿樂町十二　水原はる子
小石川區下富坂町十三　宮崎かれ子
日本橋區久松町三十九　宮田ちか子
神田區錦町三ノ一　水野しげ子
深川區冬木町十　三森千枚子
赤坂區青山南町五ノ四十五にの十二、　溝上幸子

しノ部

麹町區飯田町六ノ十八　島崎たけ子
赤坂區青山南町二ノ二十六　進みち子
麹町區下二番町七十二　鹽田てる子
麹町區富士見町二ノ四十二　侯爵夫人　四條春子
米國行　白石萬子
麹町區一番町二十九　白井きん子
芝區三田道新町十三　下村ちと子
芝區巴町三十四　篠原さだ子
芝區城山町九　清水とし子
京橋區南八丁堀十五　白神しげ子
赤坂區青山北町五ノ二　柴田鶴子
小石川區白山御殿町百十　下瀬勝千代子
赤坂區青山北町六ノ十七　島津治子
牛込區細工町九　莊司駒子
麹町區一番町五　清水富壽子
麹町區三番町八十　守随きよ子
神田區淡路町一ノ一　十文字こと子
神田區仲猿樂町十七　白倉緑堅枝子
麹町區富士見町四ノ二　篠原せき子

本郷區駒込東片町四十二　下田鶴子
本所區永倉町十　清水なを子
赤坂區一ツ木町五十九　志村むれ子
神田區駿臺袋町濱田病院　白井せん子
麻布區宮村町六十七芳川方　島清子
神田區駿臺佐々木病院　澁谷俊子
芝區櫻川町二宅民方　宍戸たき子

ひノ部

麹町區下二番町六十九　日高りき子
麹町三番町六十　廣瀬りき子
麹町區上二番町三十九　廣井つな子
本郷區駒込西片町十トノ六　平林たみ子
本郷區眞砂町三十四　平野増子
日本橋區室町二ノ一　平山照子
四ツ谷傳馬町一ノ三八　樋口八重子
麹町區飯田町一ノ八船曳方　發田ゑい子

もノ部

牛込區中里町二十三　森しん子
牛込區上宮比町五　森安かた子
麻布區三軒屋町二十九　森園子
本所區緑町一ノ四十四關口方　木島館子
京橋區南金六町十五　森永とく子
赤坂區青山北町宇宿原二百　森君子

せノ部

京橋區長崎町二ノ五小谷方　關すゞ子
下谷區竹町一番室越方　關口竹子
本郷西片町十ろノ七　關野小枝子

神田區駿河臺袋町濱田病院　岡みつ子
四谷區鹽町一ノ二十一　瀬川さわ子
本郷區切通日本女學校　関すが子
本郷區森木町三ノ三十九　関計無子

すノ部

神田區北神保町八　鈴木みち子
芝區榮町十三　菅　明子
芝區三田綱町一　杉いそ子
本郷區駒込病院内　杉木りせ子
牛込區横寺町五十八　杉山わかな子
本郷區湯島三組町八十二　杉山落納子
麻布區材木町六十三　鈴木てる子
芝區佐久間町二ノ八　須田麒代諸子
神田區今川小路三ノ八　須藤鳳子
麴町區四番町六　杉木かれ子
麻布區芝森元一ノ十　鈴木つる子
東京帝國大學病院内科室　諏訪なみ子
牛込區揚方町三月出方　杉本かの子
日本橋區小網町三ノ十七　鈴木ふき子
麴町區永田町二ノ三十　杉山歌子

東京帝國大學附屬醫院

長
代　とめ子　木村いわ子　山田やゑ子
外科看護婦長　村井ちか子　赤堀龍江子
第二醫院内科看護婦長　高野京子　小林かつ子
第一醫院　盥井りう子

日本赤十字社病院

池上なな子　寺本谷子　山田錐子

青木せつ子　桂ゆき子
兒山澄子　北條あい子
岡宮かめ子

地方會員ノ部

本會賛成員

栃木縣河内郡姿川村大字鶴谷五　坪山平馬
石川縣金澤市石坂與力町三二　中村順次
福井縣武生郡武生病院　瀧田宗太郎
岡山縣御野郡大野村大字大安寺一一七六　山川春二
臺灣民政局　後藤新平
京都市烏丸通長者町角　ドクトル　佐伯理一郎
新潟縣小出町小出病院　醫學士　竹中成憲
廣島市字中島木町九一　小泉貢
兵庫縣湊町三ノ十三番屋敷　大島喜馬太
千葉縣千葉町寒川新田四　大島秀人
甲府市錦町三番戸　醫學士　川上雅量
靜岡縣濱松町六七　鈴木市太郎
岐阜縣安八郡　加野春夫
甲府市山梨縣立病院　醫學士　淺田決
上野國前橋市相生町九號　小高左一郎
府下南多摩郡八王子町八日三丁目　内田源兵衛
筑後國三池郡大牟田町大字横須　猿渡徹
新潟市本通五番町八　高山新松
青森縣西津輕郡鰺ヶ澤町七ツ石四、　藤田貝藏
石見國鹿足郡畑迫村　廣本品二郎
群馬縣上野國利根郡片品村大字土出村　梅澤藤吉
千葉縣君津郡小櫃村　根本粂吉
越後國南蒲原郡加茂町　關善三郎

新潟縣東頸城郡浦田村大字浦田一八　本山捨五郎
新潟縣南蒲原郡見附町見附病院　岡田九十九
讃岐國香川郡東濱村松島三丁目　小川仲明
信濃國下高井郡平岡村四五一　山田重德
愛媛縣松山市杉谷町二〇　漆原兵吉
福岡市行行ノ町三六　小笹文藏
長野縣上高井郡夜間瀬村　小池龍之助
山形縣北村山郡宮澤村大字正嚴　阿部満
山形縣北村山郡大高根村　高木辰次郎
茨城縣稻敷郡江戸崎町下太田　川島一雄

終身會員ノ部

山形縣西村山郡新有村　今井政乃子
同東置賜郡屋代村大字竹森六〇二　長谷川伊勢子
大阪市杆屋町紡績會社　山邊さだ子
愛知縣春日井郡中小田井村　松澤たつ子
神奈川縣大綱山　高島くら子
大和國生駒郡法隆寺村一六三　北島三枝子
福島縣福島町　油井なか子
攝津國西須广村須磨寺前　椿高子
埼玉縣北葛飾郡櫻田村字八甫　渡邊麗子
京都市上京區塔の段櫻木町　和辻愛子
横濱市南太田町　荻原浪子
神戸市北長狭北木町一丁目小松方　松岡雪子
北海道渡島國福山町大字神明町二一　子爵夫人　松前藤子

特別會員ノ部

北海道函館恵比須町四　藤野くら子
岡山縣兒島郡味野村一六七二　野崎陸子
越後國長岡町大字新町　近藤綠子
甲府市横近習町一三九　川上きん子
岩手縣盛岡市餌差小路　佐藤絹子
紀伊國有田郡箕島町　中村美根子
府下南葛飾郡吾嬬村大字請地　川添香代子
同北多摩郡落合村大字落合　近衛もと子
廣島縣江田島海軍兵學校官舍一　富岡婦美子
横濱市元濱一ノ一　渡邊たま子
千葉縣東葛飾郡市川町字市川新田百　木間よし子
大阪市北區網島町　藤田富子
府下荏原郡大崎村上大崎三二一　渡邊妙子
京都市河原町二條下ル別邸　田中恭子
大阪市北區天満橋通三ノ十番邸　石田裕子
甲府市山梨縣立病院　淺田とみ子
秋田縣小坂鑛山醫院内　佐々木きぬ子
秋田縣小坂鑛山醫院分院　河野りつ子

い ノ 部

土佐國安藝郡川北村　岩村玉子
相州大磯別莊　侯爵夫人　伊藤梅子
讃岐國仲多度縣興北村字西原三百六　石川暢子
奈良市東高林町十八　磯田梅代子
千葉縣佐倉町宮小路七十九　岩佐くに子
京都市上京區新烏丸通夷川下ル　石栗とせ子
台灣台北總督府鐵道部い／二號官舍　岩永しま子
千葉縣千葉市川　飯田和香子
仙台市新坂通り四十八　岩田きく子
廣島市吉島官舍　五十嵐安子
岐阜縣安八郡結村大字西結三五八　石原富貴子
沖繩縣琉球名護城村六十二　市來いく子
福岡縣山門郡城内村大字袋町　今井ぶん子

山口縣立山口高等女學校寄宿舎　井上はるひ子
埼玉縣大里郡明戸村石塚　石付根いせ子
羽後國平鹿郡増田町　石田岩子
大阪市東區谷町一ノ五十八　石川定子
伊豆國熱海町坂町　和泉なか子
愛媛縣松山市柳井町六十三　伊藤ちやう子
埼玉縣入間郡豐岡町字黒須　伊藤耳久子
京都市東竹屋町川端東二入　井上しづ子
埼玉縣浦和町八十八　飯尾たつ子
長野市石堂町百七十六　石川游美子

は ノ 部

廣島市尾道町西田病院　林久滿子
大阪東區平野町四ノ九十一　波多野葉津子
熊本市河原町二十五番地屋敷　橋本多久子
府下荏原郡目黒ビール會社構内　橋本眞津子
清國北京公使館内　服部繁子
清國上海歳昌路川本郵船會社内　林榮子
高知縣幡多郡宿毛町　濱田茂美子
岩代國信夫郡飯坂町字横町十九　半田よし子
山形市旅籠町四百八十四　服部さき子
仙台市元鍛冶町一　伴よし子
山口縣豐浦郡長府村大字河端二一三四　橋本貞尾子
神戸市山本通五丁目四十九番屋敷　芳賀喜多子
大阪市西區九號新道二番道路四號五八四林谷氏方　早川しか子
兵庫縣津名郡郡家村四百二十七番屋敷　春海喜佐子
尾張國西春日井郡清洲町甲五十三番戸　林とう子
長野縣下伊那郡上飯田村百六十八　蜂谷せん子
神戸市中山手通五ノ二十一　塚原てい子
廣島縣宇品碇泊士洋丸第七臨時救護班　塙とせ子

に ノ 部

日高國浦河支廳第一號官舎　西久子
神奈川青木元町高木山　丹羽貫子
佐賀縣西松浦郡有田町五百七十四　西岡安子
台灣台南廳安平支廳内　西垣守野子
渡島國函館區汐見町一　西川ふみ子
廣島縣安藝郡府中村　二宮政野子

ほ ノ 部

長野縣埴科郡松代有樂町　堀與野子
京都市土手町通竹屋町　細木とみ子

と ノ 部

韓國釜山京釜鐵道社宅三十二號　富田たま子
府下豐多摩郡中野町大字仲ノ千古前三千二　戸塚てつ子
兵庫縣氷上郡柏原北町十八　友近里子
南多摩郡八王子町本町四十六　富澤れん子
岩手縣盛岡市内丸裁判所官舎　戸田たき子
埼玉縣南埼玉郡八幡村字大曾根七十七　豐田野信子
愛媛縣温泉郡雄郡村大字藤原白石氏方　俊野いわ子
神戸市楠町四ノ四十番屋敷　飛石粂子
北海道天鹽國増毛郡増毛町大字辨天町三丁目私立病院　戸來きく子

ち ノ 部

高知市金子橋　長曾我部初子

を ノ 部

大阪府下泉州寺公園内　岡田みす子
長野縣下伊那郡飯田町　小澤愼子

長崎縣西彼杵郡高島炭坑社宅　大木珠子
大阪市西區江ノ子島官舍　大村やす子
大阪市東區本町一丁目四十番邸　大深ゆき子
北海道函館愛泉病院第六救護班　大木うん子
千葉縣市川町五百四十八　大迫隆子
北海道函館區大町二十九　小山よぬ子
清國上海日本總領事館　小田切桂子
廣島市大手町四丁目六番邸　岡數子
安藝國吳港和庄町字古江四五九　大井上かれ子
清國上海法界永安街三德里日商吉隆洋行內　織田千賀子
群馬縣碓氷郡安中町大字安中驛百五　岡村まつ子
大阪市北區老松町一ノ九十六井上氏方　小野文子
岐阜縣安八郡名森村大字森部百五十四　岡田まそ子
但馬國美方郡湯村仲ノ町　岡田敏子
伊豆國三宅島神着村二十五　小野すゞ子
南多摩郡八王子町八日一番地　大谷うた子
佐賀縣西松浦郡伊万里今町　沖田あい子
廣島縣吳市和庄町二千八十一　大舘くみ子
沖繩縣那覇區字西四百四十八　岡本よう子
府下八王子町八日六十六　大野みち子
香川縣高松市濱ノ町イ百三十八　小川榮子
上野國碓氷郡里見村大字神山二十八　岡田せい子
陸奥國二戸郡淨法寺村十五　小山島豐子
台灣打狗驛傳社內　大坪延子
新潟縣北蒲原郡松浦村大字笹川　大沼志計子
十勝國帶廣町字西二條通四丁目　大井上よぬを子
熊本市西新町四番地ノツト氏方　大崎つの子
鳥取縣伯耆國米子町大字立川二丁目　岡島沖津子
福岡市須崎裏町　大森よみ子
埼玉縣浦和町大島寛爾氏方　大島直子

鹿兒島縣肝屬郡佐多村大泊　大津ゆり子

わノ部

神戸市山本通五丁目七十九　和久山きそ子
相模鎌倉扇ヶ谷　藁谷保子
京都市西洞院下立賣下ル　渡邊千旅子
熊本縣飽託郡大江村九品寺官舍　渡邊千賀子
岩代國河沼郡野澤村　渡邊同子
北海道札幌區北二東四ノ十　若林かめ子
北海道函館會所町八　渡邊夏子

かノ部

山梨縣東八代郡石和仲町二百九　鹿兒島きく子
神戸市葺合町字熊内二千八十九　勝田久米子
廣島市鐵砲屋町六十三　川上恒子
相模藤澤大阪町網敷間屋　梶たき子
富山縣高岡市小馬出町六十三　金森さや子
甲府市伊勢町　河村孝子
栃木縣芳賀郡茂木町二百　片岡ちか子
長野縣東筑摩郡松本町六十六　上條鈴子
千葉縣安房郡岩井村竹内百三十八　川崎ゆき子
京都市上京區塔ノ段神奥町　河村たま子
岐阜縣安八郡墨俣町　加野とも子
府下荏原郡大井村三千六字鹿島谷　柏谷たけ子
南多摩郡八王子町南町十七　神尾きい子
千葉縣長生郡茂原町早野新田　加藤彌滿子
攝津國有馬郡鹽瀬村ノ内名鹽村　各務愛子
千葉縣夷隅郡勝浦町　數見恒子
韓國仁川港日本領事館　加藤直枝子
兵庫縣多紀郡岡野村ノ内西岡屋村二十二　梶原もと子

愛媛縣新居郡新居濱磯浦　梶浦信子
京都市姉小路通堺ヶ西京看護婦學校　勝岡すて子
臺灣臺南回春醫院內　川田あや子
千葉縣茂原町長谷　加藤もと子
長崎市飽ノ浦六百十六森川氏方　河本梅子
仙臺市東二番町百一　加藤つれ子

よノ部

長野縣東筑摩郡島立村大庭百八十五　横內いわ子
肥後國八代郡八代町停車場前通二百六　吉富霜子
山口縣豐浦郡長府村九百十二　横山しん子
山口縣吉敷郡吉敷村　吉田すま子
河內國富田林町東林町十九番屋敷　米原とき子
府下八王子町八日二十二　米本ちか子
山梨縣北巨摩郡旭村　米山さの子
埼玉縣入間郡高萩村森田新田五　吉野もと子
伊豫國新居濱村總開二百十二　吉田香小枝子
岡山縣兒島郡鴻村大字上村二千二百八十三　横山豐子
府下南多摩郡川口村下川口畑口　米山多賀子
埼玉縣浦和高等女學校內　吉村はま子
相州鎌倉長谷新宿　吉野伸子

たノ部

越後國小出町小出病院　竹中もと子
群馬縣群馬郡箕輪村大字四明屋村百五十五　田中のぶ子
神奈川縣小田原十字町四ノ八百八十七　俵つれ子
香川縣高松市七番町六番地　高木操子
岩手縣盛岡高等農林學校　玉利わか子
佐賀縣杵島郡朝日尋常小學校　立野階子
赤間關市關後地村字山ノ口　瀧川みち子

臺灣三叉河大倉土木組出張所　田原その子
大分縣豐後國臼杵町五百八十六　田中葉末子
信州松本町二千五　武野つる子
陸奥國三戶郡八戶町大字長横町七間戶　武田みや子
臺灣臺中醫院官舍　高木俊子
愛知縣丹羽郡高雄村百五十七　高木英子
長野縣東筑摩郡松本町三〇七四　武居はよ子
志摩國志摩郡波切村磯兵衛方　高橋いとの子
北海道小樽區中宮裡町五　高橋いち子
新潟縣越後國新發田尾上町　高野良子
岩手縣稗貫郡花巻川口町五五三　高橋只志子
臺灣臺北小南門街四丁目四番戶　田中直子
長野市千歲町三十三　田中いし子
岐阜郡稻葉郡日置江村大字茶屋新田　武山しう子
大阪市東區伏見町二丁目一　谷政子
大阪市伏見町二ノ四十九　谷良子
福岡市下土居町二十六　武內すれ子
府下南多摩郡八王子町大横三　田野倉ことよ子
府下豐多摩郡中澁谷村一三六　多々良とよ子
千葉縣千葉郡睦村桑橋　立石まさ子
府下八王子町横山一四八　平よね子
栃木縣宇都宮市大寶町二ノ三十　高橋鏡子
埼玉縣北足立郡鳩ヶ谷町一七四　田畑和か子
府下荏原郡大森町四四二　高城艷子
福岡市高等女學校　田澤ふみ子
埼玉縣浦和町四三五　田中こう子
埼玉縣浦和町　高橋ふみ子
高村市中島町二九〇　武田登喜子
伊豫國松山市港町四ノ三六　高山直子
長崎縣南高來郡島原村六三四　田浦龜子

そノ部

和歌山縣師範學校女子部　曾野菊江子
相州小田原十字町四丁目竹添氏方　堤　藤子

つノ部

北海道函館區大町三三　辻　むめ子
府下巣鴨庚申塚明治女學校内　塚原雄子
長野縣長野市千歳町信濃裁縫女學校　土屋かめ子
相州小田原万町四丁目　辻村かれ子
丹波福知山町字内記三十六　土屋もと子
山口縣下關新町六丁目　土屋酉子
神戸市北長狹通り三ノ四十一　堤　吉子

ねノ部

北海道札幌區大通四五丁目八ノ南側　根岸八重子
長野縣上水内郡三水村　禰津せい子
臺灣臺北西門街二丁目臺灣銀行内　長尾せい子

なノ部

大阪市西區江戸堀北通四ノ三十九　中橋みつ子
相州横須賀港野崎町中里一四二　中溝辰子
北海道蕊部郡蕊部町大字渡島町　中根いね子
南豐島郡澁谷村元中澁谷四〇　長森ひで子
埼玉縣大里郡吉見村　長島ひさ子
甲府市緑町四十　内藤喜千瀬子
京都市富小路夷川上　中江あし子
長野縣東筑摩郡松本町字和泉町　那須久江子
山口縣佐波郡三田尻毛利家邸内　長井良子
群馬縣前橋市北曲輪町共有舍乙一號　永田い代子
靜岡市水落町一ノ二十五　名波なゝ子
佐賀縣立佐賀高等女學校内　永淵政清子
丹後國舞鶴軍港北吸官舍乙二十四　中濱千代子
山梨縣東八代郡豐富村大字木原　中澤久野子
沖繩縣那覇區字久茂地二三〇〇　長友務津子
長野縣上水内郡芹田村　中島篤子
長野縣長野市大門町五　中島沙子
長崎市西山首十一官戸　中村千代子
肥前國口之津大泊　楢崎竹子
長野縣長野市狐地四九　習田文子
相模横須賀逸見三一一　南條榮子
兵庫縣揖保郡龍野町内川村　中原百合子
和歌山縣西牟婁郡田邊町字榮町南新町　那須よし枝子
岩手縣盛岡市紙屋町七盛岡病院　中山よし枝子
岐阜縣武儀郡菅田町　長尾愛子
高知市西唐人小路　中川てる子
仙臺市北四番町一二八　成田松子
大和國添上郡帶解村大字池田第一官邸　内藤多美子

むノ部

信州諏訪郡上諏訪町字北本町九〇四　棟方百世子
新潟縣刈羽郡鯖野町　村山珠雄子
横濱市北仲町六ノ八十二官舍　棟居みち子
北海道札幌三條東二ノ三　撫養きさ子
岐阜市小熊區柳澤町二一一　村松さく子
陸中國稗貫郡大迫上町六四　村田ふさ子
靜岡縣掛川町大手　室伏清子
相模平塚停車場前　村井たか子
高知市小升形　村上笑惠子
鹿兒島縣肝屬郡高山村新富三十七　村上八重子

う ノ 部

相模三浦郡逗子九七一	内田芳子
兵庫縣西須村字千森	植村妙子
和歌山市久保町四丁目水野氏方	上野延子
丹後國與謝郡宮津町字安智	牛窪操子
愛媛縣松山市南打行町廿六	漆原せい子
岡山縣吉田郡二宮村池上氏方	打江よし子
越後國中魚沼郡鹿ヶ崎村大字谷内	内山恭子

の ノ 部

高知市鷹匠町	野並三稀子
府下豊多摩郡千駄ヶ谷村原宿三六一	乃木千世子
府下南足立郡北千住村櫻組社宅二號	野口孝子
大阪市南天王寺上ノ宮町五三四八	野口貞子
岐阜縣本巣郡西郷村下西郷	野々村多賀子
長崎縣南五島福江三十九番戸	野口音馬子

く ノ 部

神戸市小本通四ノ百一番邸	桑原春子
山形縣西村山郡寒河江町	國井紫江子
香川縣丸龜市本町看護婦養成所	桑名まき子
埼玉縣浦和裁判所官舍	黒田哲子
長野縣下高井郡中野町字横町	黒岩ぬい子
愛媛縣中醫院官舍内	久保田ぶん子
南多摩郡八王子八日町一〇二	桑原たに子
長野縣長野市高等女學校寄宿舍	黒岩貞子
山口縣山口町今道三十五番地	黒部きよ子
大分縣直入郡竹田町	黒野春子
高知市中島町二七	黒岩亀志子

や ノ 部

千葉縣安房郡館山町	安田こう子
甲府市二十人町	山田茂樹子
伊勢國度會郡大湊町	山中三千代子
大阪市中ノ島玉江町一ノ十二	安永菊子
大分縣大分郡首二十三	安田悠子
北海道函館相生町四十七、ミス、タアリン方	山田こう子
大阪市東區南新町一ノ十六番邸	山田たつ子
愛媛縣松山市大字新天町口ノ一番戸	矢能以満子
府下南多摩郡小宮村西中野	山川福治子
長崎市三菱造船所八軒屋社宅	山田小里子
東京府廳内官舍	山本兎喜子
愛媛縣越智郡今治町末廣町三丁目	矢野德代子
府下南多摩郡八王子八幡七十九	山住たね子
府下南多摩郡八王子町元横山七百二十二	八木輪子
長門國下ノ関市大字竹崎四ノ二十一	矢田やす子
靜岡縣庵原郡興津町清見寺	山梨議子
府下大森八景坂上	山口静子
鹿兒島縣薩摩郡宮之城村	山内芳子
名古屋市前津町二引七	安田定子
横濱市山手町十番地	山下春江子
愛媛縣南豫街廿六番戸	山崎きく子
長野縣下高井郡平穏村	山本つね子
群馬縣前橋市曲輪町十一	山下かな子

ま ノ 部

筑前國嘉穂郡笠松村鯰田炭坑	松田すゑ子
長崎市引地町十番戸	毎熊かめ子
長崎市馬渡町官舍	馬淵よし子

茨城縣猿島郡古河石町　丸山よし子
門司小丸千十九、郵船會社々宅　松田順子
福岡市土手町三番地　松田眞都子
神奈川縣横須賀町汐入四百五十二　眞崎登代子
北海道石狩國札幌郡月寒陸軍官舍第十八號　眞崎敏子
三重縣三重郡羽津村羽津病院内　牧村清子
越中國下新川郡泊町松吉氏方　松田よし子
府下南多摩郡八王子町本町五十七　松波こゝゑ子
鹿兒島縣始良郡加治木村反土川上チカ方　松本友代子
清國天津日本租界宮島街　眞水定子
相模鎌倉長谷二九三　松波好子
豐多摩郡大久保村大字西大久保四四七　前田とよ子
廣島市大手町九ノ二三八番屋敷　松方鎰子
府下荏原郡北品川新宿百六十七　松崎直子
茨城縣眞壁郡下館町五百番地　間々田とよ子
伊勢國一志郡田口村二八五　眞柄みね子
岐阜縣安八郡結村大字東結　馬淵秀子
愛媛縣松山市北京町十七番戸　松崎こふじ子
靜岡縣富士郡加島村平垣　松永くに子
大阪市南區天王寺岡田院町　又木きく子
仙臺市二日町六十番地　増澤まつみ子
下野國日光内唯心院　松下貞子

ふノ部

北海道函館船見町十八　深瀬たか子
清國天津佛租界城梅溪方　古城貞子
青森縣三戸郡八石町大字上徒士町十四　福田よね子
新潟縣新潟市上大川前通十番町六番戸　藤田りた子
大阪市地區堂島濱通四丁目十八　深澤ふく子
府下荏原郡大井村二三五、泊船寺補　福島鶴子
愛知縣愛知郡熱田大字中瀬八十一　深田幸子
臺灣澎湖島醫院内　藤井もん子
神戸市元町六丁目一番屋敷　福島貞子
清國上海文路四十號　深野英子
大阪市北區宗是町四十二　藤村璋子

こノ部

府下荏原郡入新井村字新井宿千五百二　神足とも子
靜岡縣榛原郡勝間田村靜谷　駒塚元子
長野縣東筑摩郡松本三丁目百四十三　小平米江子
栃木縣足利町九丁目　藤てい子
長野縣松本大柳町　小枚靜子
横濱十全病院　駒場常子
臺灣臺南市亭仔脚街廿八番戸　洪作霖妻銀鸞
群馬縣碓氷郡里見村大字下里見村二十三　木暮縫野子
兵庫縣養父郡伊佐村ノ内伊佐村五十八番地　小出梢子
大阪市北區若松町官舍　國分米子
高知市帶屋町　高知病院
長野縣更級郡西寺尾村總太郎氏方　五明はや子

えノ部

山口縣豐浦郡長府村字金屋ヶ濱四百七十三　江口春子
高知市金子橋長曾我部氏方　遠藤豐子

てノ部

芝區高輪町五十五　手塚ふく子
島根縣邑知郡川本町　寺木美代子

あノ部

長野市縣町一番地今井氏方　麻澤きくの子

福島縣福島町字上町十三　荒川梅子
府下豐多摩郡千駄ヶ谷村字原宿百七十八　淺野かま子
朝鮮釜山西町二丁目一福亭前　淺海琴子
府下九条寺八木町八番地　朝倉鍵子
廣島縣吳市和庄町五六二　天野知惠子
長野縣下伊那郡飯田番匠六五六　秋田いち為子
廣島市國泰寺村私立廣島高等小學校　渥美いはほ子
長野市妻科十九　有賀な越江子
愛媛縣松山市字淵町戸村方　淺井ひで子

さノ部

筑前國鞍手郡勝野村西部古河鑛業所　佐藤澄子
府下荏原郡目黑村大字上目黑二九八　四郷清子
長野縣上田町木町中井氏方　佐藤たま子
長崎縣佐世保石町鎮守府司令長官々舍　鮫島峯子
甲府市百石町六十九番戸　匂坂きく子
相模中郡秦野町大通　佐藤さと子
和歌山市湊北町二ノ二　澤とよ子
岡山縣赤磐郡五城村大字平岡　坂いくの子
岐阜縣伊那郡坂下村中野屋方　澤木下
山梨縣北巨摩郡若神子村穴平　坂木伊勢子
佐賀縣東松浦郡湊村字相賀　寒水たけ子
肥後國大村伊勢町二百八十一　佐土原いれ子
福岡醫科大學醫院內　坂田正穗子
岩手縣和賀郡湯田村大荒澤鑛山事務所內　齋藤よれ子

きノ部

和歌縣海草郡內海村大字島居　木村八百代子
長門國門司市丸山帝國商業銀行社宅　北田福子
愛媛縣松山市北京町一番戸　生熊夏子

茨城縣土浦中條　菊地榮子
千葉縣茂原町高師　菊地とみ子
府下大森八景坂谷口氏方　北原とし子

ゆノ部

宮城縣伊具郡角田町　湯村きく子
仙臺市北六番町百二十二番　遊佐とよ子

みノ部

京都府北桑田郡黑田村　宮欄まき子
福島縣福島町船場七番地　水野とら子
神戸市山本通二丁目十八番屋敷　三田あさ子
筑前國嘉穗郡笠松村鯰田炭坑社宅　三浦こま子
群馬縣上野國新田郡太田町在大島村　三浦ふみ子
長崎市西山五九　美島富子
橫濱市北方町五十五　箕輪不二子
臺灣臺北府後街民政部官舍Ｌ號　宮木定子
臺灣臺南城田打銀街二十二　三宅やい子
長野縣南安曇郡倭村　三澤さわじ子
府下南多摩郡八王子大横七十二　宮崎あさ子
長野縣長野市櫻枝町二百九　水澤たか子
新潟縣刈羽郡柏崎下新田町宮川久平內　宮川芳子
神奈川縣中郡吾妻小學校內　水島すみ子
岩手縣盛岡市內丸四十三　三田さめ子
愛媛縣松山市三番町百二十一番戸　宮脇ちよう子
千葉縣茂原郡高師　宮崎松枝子
高知縣鷹匠町　三松しげ子
北海道札幌區北條西四ノ二　宮島梅子
廣島宇品碇泊陸軍病院船　三村山喜惠子

しノ部

新潟縣刈羽郡柏崎北角村字四ッ谷　品川いし子
對馬國厳原宮谷町百五　下田けい子
肥前國東杵郡四大村五百三十五　澁江伊勢子
對馬國厳原國分町字與里　鹿野とめ子
廣島縣呉市二川町字兩城乙ノ百八十　志水貞子
熊本縣飽託郡春日村字蛻目五百二十　此田ちよ子
千葉縣佐倉中尾余町十　宍戸幸子
京都河原町通荒神口上ル東櫻町　白藤りく子
廣島縣呉市和庄町三百一、次二　島内幾千代子
埼玉縣南埼玉郡久喜町大字久喜新十九　白熊とも子
福井縣敦賀町松榮　繁田よし子
甲府市八日町三丁目　清水ます子
長崎縣南高來郡島原町中ノ丁荒尾恒信方　島田政子
神奈川縣小田原幸町二小木眼科院内　清水忠子
日向國西臼杵郡三田井町　神殿とな子
千葉縣印旛縣大杜村字大森　椎名律子
長野縣小縣郡長瀬村　白井みちを子

ひノ部

廣島市字大手町八ノ廿九　久徳喜代子
京都下鴨村四十四　久原あき子
布哇ホノルヽ、スカッダー氏氣付け樋口貫内　樋口つや子
北海道室蘭港海岸町一　緒子那珂子
長崎縣西彼杵郡高濱村百六十　弘生二非子
豊多摩郡下澁谷村二八六　菱田糸子
長野市今魚町六十二　平山禎子
宮崎縣東諸縣郡八代村大字八代北俣字尾園　平田美知子
長野縣北佐久郡小諸町四岡正方　平野とし子
長野縣下伊那郡松尾村七百三　平澤げん子
大分縣大分縣高等女學校内　廣瀬敏子

熊本縣八代町長丁　久持しれ子
埼玉縣浦和町四百三十六　平野常子
神戸市楠通二ノ一　平非みと子

もノ部

北海道天鹽國増毛町大字阿分村阿分病院　森岡かつ子
奉天北門街二ノ廿三ヘ號官舎　森田みつ子
府下八王子町本町二十三　李代こま子
廣島縣岩瀬郡枚木村大字下松木　森はつ子
長崎縣南高來郡神代村　母里さち子
千葉縣千葉郡誉田村遍田二九九　森いち子

せノ部

福岡縣博多瓦町六十五　仙田花子
山口縣豐浦郡玉司村字宇郡小田醫院内　關野秀子
府下南多摩縣八王子町馬乘十八　關山そよ子
神奈川縣鎌倉字長谷四二一　追水吉子

すノ部

山形縣酒田町上荻町鈴木商店内　鈴木よし子
横濱市月岡町八　杉原昌子
佐賀縣東松浦郡相知村三菱合資會社相知炭坑　杉本千世子
府下南葛飾郡亀戸三九〇一　鈴木起代子
美濃國安八郡神戸町　杉山千代子
山口縣吉敷郡山口町竪小路六四九　諏訪幾久子
福岡縣久留米市外梅満　菅原正能子
北豐島郡日暮里村元金杉百一十八　鈴木れい子
兵庫縣川邊郡尼崎町ノ内別所村百三　鈴木壽子
長野縣埴科郡松代紙屋町　鈴木ふし枝子
仙臺市元寺小路十七　菅瀬みつ子

新潟支會

●講師

醫學士 池原康造君
長谷川一詮君
各務芳一君
新潟産科院長 高橋辰五郎君
醫學士 工藤秀一郎君
小林忍君
仝 長谷川寛治君
醫學士 若杉喜三郎君
田代亮介君
長井千尋君
黒山福三郎君
醫學士 澁川正男君

●役員

會長 小林きく子
幹事 和田くに子
仝 古閑はつせ子
仝 潟原じゆん子
評議員 渡邊くら子
仝 鍵富かう子
仝 神尾つや子
仝 田代てふ子
仝 中村きん子
仝 寺田とみ子
仝 坂本いち子
副會長 中村しげ子
仝 佐柳ちよ子
仝 若杉きく子
仝 加藤かう子
仝 河上ふさ子
仝 吉村きよ子
仝 多田しか子
仝 梅木しづ子
仝 荒木てい子
仝 澁川たま子

●終身會員

鍵富せつ子
鈴木さだ子
鍵富孝子
市島徳次郎氏家族
古閑初瀨子

●特別會員

保倉ちよ子
安藝かうの子
澁川たま子
神尾つや子
潟原じゆん子
高橋なみ子
高橋たゞ子
新開かゞ子
安宅ふじ子
佐藤みち子
竹上れつ子
關やへ子
橋本さよ子
岩瀨きん子
池田よれ子
前川菊の枝子
市川ます子
中山きく子
森田直子
櫻井うめ子
鏡たけ子
佐柳ちよ子
池田かほる子
山下かう子
鈴木たけ子
田村みち子
吉井きく子
長谷川じゆん子
齋藤かう子
若杉きく子
八木ゑい子
鈴木とめ子
長谷川やす子
征村えい子
岡村とらえ子
笠井よし子
竹内かう子
新妻みよ子
松木かよ子
小柴きく子
坂本いち子
松野なほ子
村岡わき子
山根松枝子
土田とめじ子
坂口あさ子
高橋さだ子
荒川てい子
鍵富とき子
江部さだ子
加藤かう子
長谷川うた子
宇佐美きち子
谷みつ子
山口清子
岡野かしの子
田中喜惠子
高山さち子

●新潟支會通常會員

岩瀨せい子
長野むら子
小布施すみ子
田中ぬい子
千谷とよ子
和田くに子
吉村きよ子
中村きん子
寺田とみ子
中隈とも子
岡田しげ子
若松よし子
吉住部枝子
梅木しづ子
笠原すゑ子
木村ぎん子
小川むつ子
渡邊くら子

多田しか子
松井ふて子
水島川きよう子
河上ふさ子
千田ろい子
中島しづえ子
長井さと子
工藤せい子
清宮たか子
齋藤らく子
安宅しま子
田代てふ子
山田さく子
白勢はな子
中山よう子
齋藤きい子
近藤よれ子
清水くり子
江口みつ子
吉澤とり子
工藤とく子
小島まき子
南むれ子

高田せん子
荒井もい子
大島しづ子
田中さくな
丹羽みす子
堤てつを子
原みほ子
松木きと子
清水とよ子
木野井ゆきの子
佐藤しん子
中村しげ子
木谷しげ子
館れい子
會津やす子
山崎つる子
關井じう子
木下てつ子
相原れん子
鍋谷きな子
中村きん子
廣川れん子

高橋はる子
齋藤むら子
篠原きし子
中野せき子
行形いき子
石高いし子
齋藤たま子
阿部きく子
大瀧きみ子
大港いし子
大橋とし子
齋藤きく子
志賀ちゑ子
富岡つわ子
青山つれ子
町田こと子
金井そめ子
鏡淵りう子
鰐はま子
田中まち子
小林わき子
捧よい子

●地方ノ部

稲津しん子
長谷川ゆう子
野々山きん子

本間なか子
玉木もと子

廣川しづ子
都筑すか子

●學生ノ部

霜島一枝子

●支會員甲ノ部

岩永ひさ子
柄澤より子
中田てい子
涌井とよ子
廣橋きよ子

石橋きし子
河野よし子
上原やい子
塚野まさ子
牧野なか子

花輪しげ子
吉田かれ子
小林きせ子
長谷川せん子
金坂ひて子

●支會員乙ノ部

板垣まつ子
高田つろ子
服部のぶ子
佐藤すみ子
遠藤みい子
若月すみ子
山崎ふさ子

外山やゑ子
松木はろ子
中村はつ子
平野くめ子
佐藤たか子
後藤ゆき子
阿部たか子

尾原きく子
永井りい子
中村ちよ子
小林せい子
三條ひろ子
佐藤よし子

●千葉支會々員

高梨みつ子
紅谷えつ子
駒つれ子
小池もと子
御手洗てい子
上村

太田ちよ子
江川かれ子
鈴木とよ子
高橋なか子
島田みれ子

長尾ゑん子
柴田ひさ子
岩崎とし子
平田みれ子
伊藤はつ子

●山形支會

●賛成員講師（順次不同）

津田元德君
稻岡美賀雄君
西野愼一君
遠山矢十君
加藤三郎治君
溝尾錄太郎君
醫學得業生 佐々木森策君
法學士 阿野鶴三郎君
醫學士 北島小太郎君

堀義太郎君
高橋榮次郎君
音山金五郎君
醫學得業生 細谷興金君
高橋健治君
齋藤彌三郎君
醫學士 中原貞衞君
醫學士 友田保癸君

●役員

會長 田中きみ子
幹事 中原きえ子
仝 佐藤たみ子
仝 堀しか子
仝 津田ゆき子
仝 林ちせ子
評議員 國井よしを子
仝 高橋まさ子
仝 今野うた子
仝 若林つね子
仝 薬科なみ子

副會長 岩本しげ子
仝 西野きぬ子
仝 北島もと子
仝 紺野さた子
仝 林せん子
仝 關原かめぬ子
仝 關根たか子
仝 友田ため子
村井こと子
仝 古閑こと子

●特別會員

田中君子　岩本しげ子　中原きえ子

西野きぬ子
津田ゆき子
友田ため子
若林つね子

北島もと子
關根たか子
今野うた子
古閑こと子

堀しか子
高橋まさ子
村井こと子
薬科なみ子

●通常會員

佐藤たみ子
林ちせ子
後藤まき子
大森まつ子
橋口さだ子
國井さだ子
平吹みな子
高橋やよ子
遠山もと子
中村やよ子
榎森ゑい子
松村いく子
安藤わか子
佐々木まさ子
佐藤ゑん子
長谷川こと子
佐々木さと子
伊藤たま子
齋藤とく子

紺野さだ子
關原かめゐ子
黑柳きぬ子
横山ちよ子
生沼ふじ子
大橋あり子
山岸きみ子
音山きち子
細谷わか子
工藤せい子
渡なを子
池田みつ子
高橋てふ子
梅林寺ちよ子
鈴木みて子
三浦しげ子
高島こと子
勝野せい子
古川とき子

林せん子
國井よしを子
菅井ひさ子
佐藤ふみ子
溝尾まさ子
大谷かつ子
鈴木ます子
高宮あと子
三橋みつ子
堀口きん子
佐治とよ子
中村松代子
成田よし子
佐藤のぶ子
長谷川ゆう子
井出けさ子
木多もと子
四村なとわ子

●宇都宮支會

醫學得業生 渡孚貞君
小兒科中里病院長 中里福次郎君

宇都宮共立病院長 吉永峯九郎君
耳鼻咽喉科 長野榮藏君
神野病院長（右賛成員講師） 神野勇三郎君

●役員

名譽副會長 髙橋さだ子　會長 菊地より子
副會長 古口とみ子　幹事 石田つね子
仝 鈴木よし子　仝 吉永こと子
評議員 矢板はま子　仝 五十嵐けい子
仝 髙崎うた子　仝 久保ため子
仝 長野順子　仝 笠原小常子
仝 中山きく子　仝 小堀うめ子
仝 須賀榮子　仝 福井よし子
仝 中里やす子

●特別會員

小田切とわ子

●通常會員

石田すれ子　須賀榮子　中山つ子　神谷志賀子　山田てい子　江原きん子　田野邊ふじ子　原すわ子　中村ふみよ子
鈴木てるの子　久保たえ子　笠原小常子　水野しげ子　行森保司子　齋藤よし子　篠崎あい子　宇津とめ子　白仁まさ子
福井よし子　長野順子　中里安子　髙崎うた子　松本とう子　長尾いく子　原ちせ子　飯塚せい子　鈴木くめ子
月田とく子　鈴樹よし子　清洲とみ子　中村ふさ子　田野きく子　堀よれ子　田中寧子　篠崎やす子　和久くに子　細川たれ子　増田ちよ子　淺山きん子　齋藤ゑん子　木田みつ子　髙橋さだ子
本多さと子　長谷川千代子　横山ひさ子　深堀久子　上野かれ子　角田ちい子　内藤小蝶子　宮岡來子　調所越路子　青木しか子　齋藤しん子　山口きよ子　町田まち子　久保謠笑子　菊地より子
星みな子　渡邊吉代子　神野まつ子　田中しん子　佐久間みの子　大久保つる子　藤井せき子　鹿野ゆき子　増淵なみ子　保坂らく子　大橋のぶ子　阿部てい子　阿久津いと子　宇津のぶ子　古口とみ子

●茨城支會

支會長 寺岡松子　副支會長 豊田芙雄子
幹事 矢板花子　仝 小野松子
仝 大曾根花子　幹事 鈴木末子
仝 小田梅野子　仝 檜山やす子
評議員 池田とよ子　仝 井手信子
仝 内林ふち子　仝 三宅たま子
仝 藤尾芳江子　仝 田口まさ子
仝 髙桑梅子　仝 本間てい子
仝 藤本せん子　仝 板垣くめ子

仝　吉野ふゆ子
仝　加藤木もと子
仝　西久保みさ子
仝　本田とき子
仝　湯地りう子
仝　井手信子
仝　酒泉たき子
仝　長谷川りう子
仝　濱口小雪子
仝　辻川逢子
仝　龍岡くに子

●贊成員

醫學士　波多野惇君
秋元洗二君
三澤衛君
木田平太郎君
山方八十太郎君
山田玄弘君
久保田悌君
村田博君
小林元茂君
猿田浩太君
神永猷君
堤孝三郎君
山縣直藏君
關行敏君

●終身會員

加納はま子

●通常會員

寺原松子
池田とよ子
長谷川りう子
山川こま子
指宿ひろ子
小室よし子
槙なみ子
牧田芙雄子
本間てい子
板垣くめ子
桑原なほ子
酒泉たき子
西久保まさ子
樺山ます子
井出のぶ子
内林ふぢ子
三宅たき子
波多野もと子
田口まさ子
濱口小雪子
辻川逢子

龍田すゞ子
關谷くり子
小田うめの子
大森くに子
五藤ゆかり子
大森じゆん子
大高つる子
藤本せん子
三宅てつ子
遠峯てる子
千葉きん子
高橋ふみ子
吉野まつ子
鵜飼たけ子
鈴木みれ子
三田寺みの子
園部たま子
萩原五百枝子
岡田くに子
大沼てい子
榊いち子
駒杵みはる子
酒泉きよ子
柳橋はろ子
小幡文代子
松本うめ子
湯地りう子
龍岡くに子
小野まつ子
牛尾げん子
大井すゞ子
檜山やす子
森戸たけ子
今瀬ぎん子
高桑うめ子
吉川りう子
鈴木すゑ子
藤田よし子
田村きく子
岡部さと子
久方やす子
榊あき子
鯉淵きん子
富田せん子
山口愛子
生田八栗子
塩田なつ子
小澤春子
拓植あき子
大關八重子
高四もと子
倉田米子
關のぶ子
藥師寺しづ子
小野はな子
下島さだ子
朝倉のぶ子
大曾根花子
杉浦たけ子
山本せつ子
藤尾芳江子
吉野ふゆ子
坂入千里子
平川うめ子
長尾ちやう子
横山ひで子
深津まつ子
人見はな子
青木きさ子
村木いふ子
秋山やす子
桐原篤子
武熊よれ子
本田とき子
太田なほ子
加納はま子
福山とき子
片岡はろ子

●高崎支會

支會長　千田米子　副會長　星野清子

幹事 土谷ひやく子　全 横井昇子
全 相川すが子　全 三橋ひろ子
全 齋藤れう子　全 高草木かね子
全 林磨智子　全 松本泰子
全 馬渡なか子　全 清水かね子
全 粟野まる子　全 稲垣すゞ子
全 財津いく子　全 正木操子
全 關 頁子　全 相澤小松子
全 鈴木たね子　全 秀島ゆき子

●終身贊成員

岡本六左衛門君

●特別贊成員

三等軍醫正 星野葆光君　一等軍醫 横井忠國君
高崎醫會長 土谷全次君　秋田聰太郎君

●贊成員

反町愼哉君　田部井已之八君
湯淺勝太郎君　津久井省己君
島矢豐三郎君　古屋壽一君
小林春造君　乾 宗太郎君
齋藤壽雄君

●終身會員

土谷ひやく子　横井昇子

●特別會員

高草木かれ子　伊藤芳枝子　相川齋娥子
小林ゆき子　小澤みれ子　落合きよ子
三井田ふみ子　秋元はつ子

●通常會員

稲垣蕊々子　粟野まる子　戸枝梅子
馬渡なか子　本多美佐子　縣登田鶴子
清水かれ子　福田愛子　相川とり子
高橋やす子　深町なみ子　塚越正子
淺野あき子　山越千代子　町田まつ子
三橋ひろ子　水谷蝶子　林磨智子
深井ちよ子　齋藤れう子　深井せい子
原田つれ子　新里はる子　松本泰子
紺貫もり子　大山うら子　秋山たつ子
佐藤龜尾子　矢島みれ子　岩田まさ子
大須八重子　財部いく子　住谷しず子
木戸のぶ子　吉田芳枝子　關 頁子
長谷川りて子　久保村てる子　根門てい子
伊藤栂子　野本登久惠子　古田友子
金子はな子　粟木るい子　山口かの子
芳野千代子　石井ひさ子　屋代いし子
高橋てる子　武谷せん子　新井こう子
松木うた子　小幡德賀子　篠原みわ子
須野ふく子　信澤たき子　横棚よし子
水戸部きん子　小島きく子　關根てる子
井上げん子　須藤たに子　岸しづ子
相川とみ子　樋口すみ子　古屋はる子
宮崎よれ子　堤とみ子　今井入千代子

大村幸子
宮島ひさ子
安松きく子
清水あい子
市川あい子
正木操子
今村順子
飯塚さと子
田中れい子
伊藤富士子
鈴木久江子
後藤けう子
中島よれ子
戸塚民子
馬場のふ子
鈴木鼎子
藤波ふし子
澤久子
井上ゑい子
今坂とし子
白石米子
反町せい子
横山幸子
大暮すみ子
池田こま子
瀬下たけ子
蠟山きち子
山川しけ子
大熊さよ子
神宮くら子

島田はる子
岡部むら子
伊藤ふく子
星野きよ子
關根とく子
岡田りき子
田中千代子
小山いく子
土橋はや子
藤崎きく子
栗木英子
岡峰しか子
内田ゆく子
秀島ゆき子
保坂なか子
砂崎乙枝子
菊野とし子
佐藤よれ子
長谷川しげ子
賀志はん子
青木ふさ子
加治はつ子
大熊久枝子
千田・米子
小林さく子
赤城容子
木尼光子
吉井のふ子
稲田千代子
長井よさ子

村田とも子
相澤小松子
二ッ木ぎん子
山田花子
阿部みや子
澤田よし子
神保ゑつ子
鈴木ふさ子
清水富子
國峰てふ子
中村さだ子
坂部米子
田口かくの子
殿とみ子
等々力欣子
櫻井くに子
東くに子
眞名子いう子
美濃和さく子
米村いく子
小林満智子
小野てい子
飯塚梅子
秋山なか子
飯島とく子
伊藤きく子
村岡ひろ子
笠原愛野子
石澤かく子
吉野くま子

深井きゑ子
北澤はる子
筑波いと子
三木おさ子
鈴木さだ子
長澤はる子
土屋はつ子
新井幸枝子
清水よし子
森さき子
成田せん子
小林きみ子
清水もと子
潮野ふじ子
豐泉むめ子
大塚まさ子
野中八重子
天利いし子
小澤てる子
上宮つれ子
小笠けん子
落合きみ子
上和田てる子
長井と代子
小林久子
岡本みれ子
新井てる子

深水りか子
鹽瀬孝子
小林みれ子
平野綱諸子
岡田みつ子
平野つれ子
宮崎津馬子
吉田千代子
佐藤榮子
小川やな子
池田きよ子
相川はま子
村上すき子
山本めよ子
大澤ふく子
後閑かつ子
高野とも子
小保方茂代子
吉野なほ子
小澤きん子
小島きん子
松村りう子
細野ふん子
小川みよ子
吉田八重野子
山本喜和子

高橋千代子
千田米子
田中みよ子
齋藤よう子
川村かれ子
大澤たか子
平野また子
杉森よし子
信田きく子
長澤けい子
長屋まん子
後藤きい子
野口りう子
平野かん子
赤塚きよ子
江積てい子
横山しげ子
相塚わし子
服部こと子
小倉みつ子
志村その子
藪谷操子
萩原たつ子
藤守竹子
三澤豐子
中村のぶ子

●米澤支會

●顧問及講師

矢尾板道雪君　高橋達之助君　矢尾板信正君
仁科盛忠君　猪股松三郎君　高橋肅君
關新太郎君　上村惟一君　宮崎厚庵君
上島善助君　加藤慶三郎君　鈴木莊君
中條梅節君　講師水野・龐平君　仝　高埜隆造君
講師楠川良作君
贊成員戸澤又太郎君　贊成員富永周太君

●役員

會長楠川璞子　副會長加藤はる子
幹事田中みと子　仝上倉たけ子
仝馬場滿子　仝猪股はる子

●特別會員

古澤みれ子　秋山なか子　竹村さと子
渡部みか子

●甲種會員

猪股はろ子　長谷部はつ子　馬場たけ子　仁科さと子
加藤はろ子　上倉たけ子　吉田せい子　中條ゆき子
楠川たま子　草刈たつ子　矢尾板秋子　松山あき子
有壁はな子　青木しげ子　宮崎てい子　三島てつゑ子
島あさ子　松本もと子　椎野よれ子　吉見こま子
河野まつ子　楠川はろ子　鬈沼むめ子　柳原ことち子
小山うん子　宮坂こう子　兒玉てい子　石山いし子
深澤ちよ子　藤本いち子　野間とみ子　近かる子
寒河江ろく子　石山たけの子　遠藤いち子　堀ちよ子
羽生町のぶ子　木間きく子　近藤いつ子　西海林せい子
遠藤てい子　戎谷こう子　小野きん子　塚田のぶ子
楠川せん子　青木ふじ子　藤倉ふじ子　樋口たま子
神尾くに子　南條こん子　渡部よし子　遠藤きり子
山田ちよ子　高梨はるの子　針生幸子　高野まつ子
吉澤りん子

●乙種會員

橋本ちゑ子　佐藤つれ子　八巻きの子　太田こう子
安部こう子　九里さの子　棚橋せつ子　澁谷きよ子
今村のぶ子　中村やす子　鈴木きよ子　横山みな子
畔柳もと子　高野きん子　吉田よし子　佐藤せつ子
遠藤ひさ子　伊藤きみ子　五十嵐たか子　本間なか子
澁谷うん子　矢島ちう子　遠藤きち子　倉賀野きち子
山田きち子　白川まり子　楠川まつゑ子　高野うん子
小山しん子　角はろ子　向つれ子　山木よそ子
加藤しん子　小濱せい子　小山きう子　神尾ちゐ子
岩船千代子　櫻井ゆき子　村山つき子　曾矢きう子
西條うちの子　國井たけ子　新井ちよう子　西たけ子
益田わぎ子　加藤かつ子　丸山しげ子　山根のぶ子
高橋とき子　金井まさ子

○甲府市會員

椎太きん子　村松信子　小林ひろ子　三谷まさ子
望月りやう子　澤田いれ子　松井よし子

○臺灣會員

田村ませ子　山田よむ子　足達くに子　杉山幹子
間田はつ子　山口かつ子　宮崎孝子

明治二十六年四月四日第三種郵便物認可

私立大日本婦人衛生會徽章規程

第一條　大日本婦人衛生會々員は其會員たることを表するため左の徽章を用ゆ

第二條　會員章は本會幷に支會の集會に出席する場合は勿論襟止兼用の便あるを以て成るべく平素佩用して廣く本會の普及を圖るを要す

第三條　本會徽章は左の實價を以て會員に頒つ





●本會徽章料左の如し

●通常會員章

第三號　メッキ製拾二錢、送費六錢

●第二號　正銀製四拾錢、送費六錢

●終身及特別會員章

第一號　七十錢（黑柿箱入送費九錢）　六十錢（桐箱入送費六錢）

●入會注意

●御入會の際は三ヶ月以上の會費前納にて申込まるへし會員章は上段記載の實價にて御頒ち申候へども送費とも必らず御前納のこと●東京府下に限り毎月雜誌の配達を兼れ會費領收人を差出すべしと雖も郡部の方は地方會員の部として領收者差出不申候但東京府下の會員にても會費前納せられ合せて郵送料をも御納付相成候へば雜誌發行次第直ちに郵送可致候●追て支會々員は支會へ會費御納付のことゝす●會費は郵便小爲替にて本會事務所々在の郵便局（東京麴町飯田橋通）宛振出あるべし又た價格表記通運便、何にても差支なし●會費受領證を要する節は送費として郵券一錢五厘封入せられたし●轉居せられたるときは其の旨必らず本會事務所宛通知せらるべし

●會員御紹介下され候御方には其人數丈の本會雜誌進呈の事

本誌一部定價貳拾錢

廣告料　一頁五圓半頁其二分一以下同之　●特別廣告一頁拾圓半頁其二分一以下同之

發行所　東京市牛込區上宮比町八番地　私立大日本婦人衛生會

編輯兼發行人　東京牛込區矢來町三番地　田中德三郎

印刷人　東京牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　渡邊智

明治三十八年二月二十三日印刷及發行（毎月一回二十日發行）
婦人衛生雜誌第百八拾三號

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場印刷